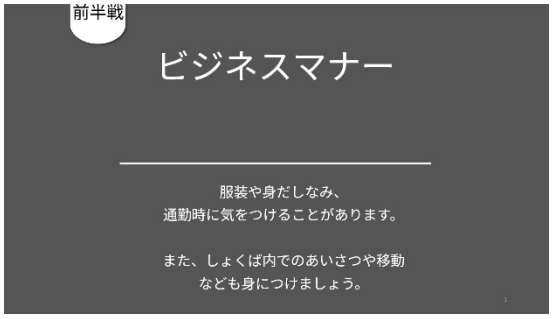
## 6.1.2. 実証講座の実施実績

今年度実施した実証講座の各回の実施概要を以下に示す。

### 6.1.2.1. 第１回 実証講座 （小牛田高等学園）

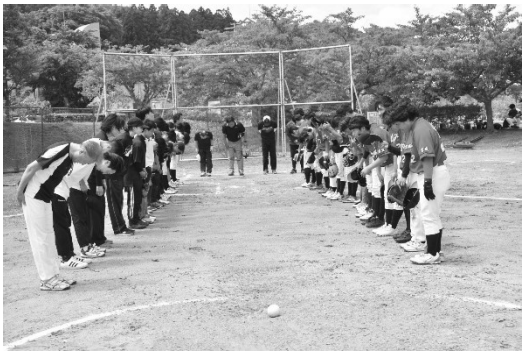
| | |
|---|---|
| 講座名 | ビジネスマナー |
| 開催日時 | 2025年5月27日(火)<br>9時40分～11時20分(90／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校小牛田高等学園 |
| 対象者 | 1年生　24名、教員5名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人、補助:橋本円 |
| 教材 | 資料名:ビジネスマナー<br>媒体(紙媒体、投影、Google ﾌｫｰﾑ) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>（この講義で学ぶこと）<br>① ビジネスマナーの基礎<br>・身だしなみについて<br>・言葉づかいについて<br>・挨拶の大切さ<br>② コミュニケーションについて<br>・書類の渡し方<br>・アドバイスの受け方<br>③ 報告・連絡・相談<br>・報告・連絡・相談の大切さ<br>・協力して働くために必要な事<br>・ロールプレイ |
| 添付資料 | 講義資料:ビジネスマナー<br>アンケート:紙媒体<br>その他:タブレット使用 |






### 6.1.2.2.　第 2 回 実証講座　（岩沼高等学園）

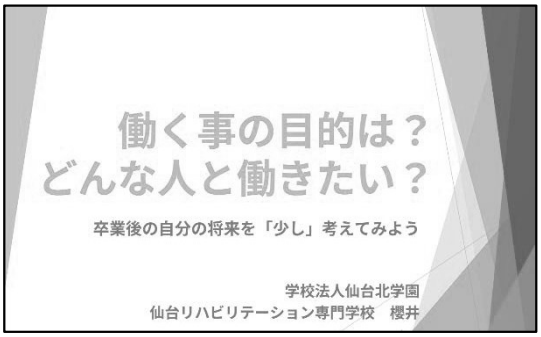
| | |
|---|---|
| 講座名 | 余暇の過ごし方/体調管理(コンディショニング) |
| 開催日時 | 2025年6月15日(日)<br>9時00分～13時30分 |
| 場所 | 宮城県立支援学校岩沼高等学園グラウンド |
| 対象者 | 岩沼高等学園・宮城県選抜/仙台リハ生徒・職員・OB(OG)　総勢60名程度 |
| 担当 | 講師:櫻井直人(作業療法士)、補助:瀬戸厚史(理学療法士) |
| 教材 | 資料名:なし |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・準備運動(理学療法士によるコンディショニング指導)<br>・グラウンド整備<br>2. 練習試合<br>・ソフトボール試合(二試合)<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① 余暇の過ごし方<br>・心身ともに健康を保つことの大切さ<br>・社会的な繋がりを保つ大切さ<br>・卒業後も繋がり、情報交換をする事の大切さ<br>② 体調管理<br>・体重管理(運動と栄養管理について)<br>③ コンディショニング<br>・怪我をしない体作り<br>・怪我をした際の対応(処置)について |
| 添付資料 | 講義資料:なし<br>その他:なし |

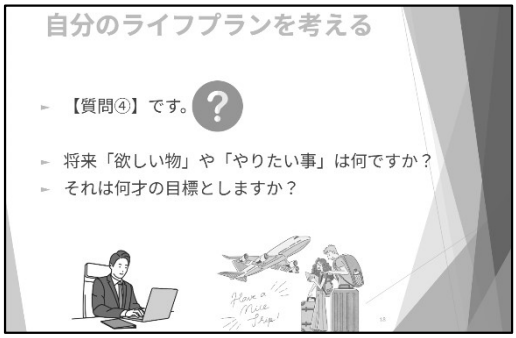




### 6.1.2.3.　第３回 実証講座　（小牛田高等学園）

| | |
|---|---|
| 講座名 | 働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？ |
| 開催日時 | 2025年6月24日(火)<br>9時00分～10時40分(80／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校小牛田高等学園 |
| 対象者 | 2年生　37名、教員5名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人、補助:橋本円 |
| 教材 | 資料名:働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？<br>媒体(紙媒体、投影) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① 職業キャリア学習・コミュニケーション<br>・挨拶はコミュニケーションの基本・入り口<br>・コミュニケーション(報告・連絡・相談)がなぜ大切なのか？<br>・コミュニケーションのメリット<br>・失敗したときの対処方法<br>② 職業キャリア学習・ライフプランとは？<br>・ライフプランとは<br>・たくさんのライフイベント<br>・自分の将来(目標)を考える<br>③ 職業キャリア学習働く目的は？！<br>・働く事の目的について |
| 添付資料 | 講義資料:働く事の目的は？どんな人と働きたいですか？<br>アンケート:紙媒体 |



### 6.1.2.4.　第４回 実証講座　（小牛田高等学園）

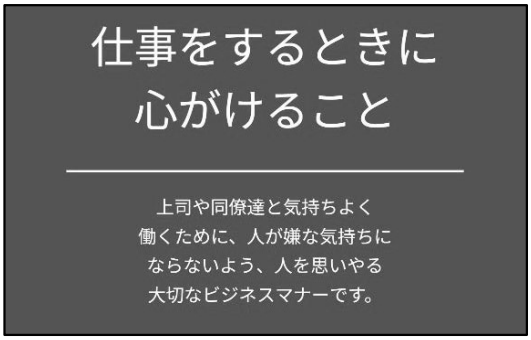
| | |
|---|---|
| 講座名 | 理学療法士によるフィジカルコンディショニング講座開催 |
| 開催日時 | 2025年7月24日(木)-25日(金)<br>9時30分～12時00分(150／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校小牛田高等学園 |
| 対象者 | 生徒10名(合計) |
| 担当 | 講師：下平茂晴、補助：櫻井直人 |
| 教材 | 資料名：小牛田支援学校トレーニングプレゼン |
| 実施内容等 | 1. 実施準備・お迎え(スクールバス利用)<br>・地下鉄泉中央駅集合<br>2. 体験内容<br>・マシーントレーニングの利点<br>・具体的なマシーンの使用方法<br>・筋力トレーニングの負荷量と回数と休息について<br>・最大限のパフォーマンスを発揮するためのメンタルケア<br>・有酸素運動の目安<br>3. 後始末(撤収作業等)<br>(この講義で学ぶこと)<br>①マシーンを使用した効果的な筋力トレーニング方法<br>②コンディショニングと怪我の予防について<br>③最大限のパフォーマンスを発揮するためのメンタルケア<br>④学内でのスポーツテストの結果の振り返り(個別運動指導) |
| 添付資料 | 講義資料：小牛田支援学校トレーニングプレゼン<br>その他：写真 |
| 備考 | 参加予定の生徒は全員時間に遅れずに集合し参加ができていた。様々な学年の生徒が参加しており、学年をまたいだ交流の機会になっていたと思われる。 |






### 6.1.2.5　第５回 実証講座　（小牛田高等学園）

| | |
|---|---|
| 講座名 | 仕事をするうえで心がけること |
| 開催日時 | 2025年9月2日(火)<br>13時10分～14時50分(90／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校小牛田高等学園 |
| 対象者 | 2年生　17名、教員8名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人、補助:橘内駿 |
| 教材 | 資料名:ビジネスマナー<br>媒体(紙媒体、投影、Google ﾌｫｰﾑ) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>①言葉づかいの基本<br>・返事、呼びかけ、丁寧語、声の大きさ<br>②アドバイスを受ける<br>・基本的なアドバイスの受け方<br>・アドバイスの受け方<br>③報告・連絡・相談<br>・報告・連絡・相談の大切さ<br>④お願いをする、質問をする<br>・ロールプレイ①(メモの取り方)<br>⑤注意や叱られたとき<br>・ロールプレイ②(叱られたとき) |
| 添付資料 | 講義資料:仕事をするときに心がけること<br>アンケート:紙媒体<br>その他:タブレット使用 |

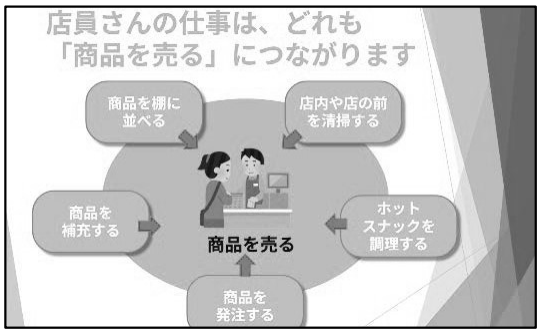





### 6.1.2.6　第６回 実証講座　（秋保かがやき支援学校）

| | |
|---|---|
| 講座名 | 職業キャリア学習　いろいろな職業 |
| 開催日時 | 2025年9月5日(金)<br>9時45分～11時15分(80／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校　秋保かがやき支援学校 |
| 対象者 | 1年生27名、教員3名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人、補助:橘内駿 |
| 教材 | 資料名:キャリアデザイン～いろいろな職業～(秋保かがやき支援学校１年)<br>媒体(紙媒体、投影) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>①いろいろな職業があって社会が成り立っている事<br>・コンビニの店員さんを例にして具体的な仕事について考える<br>販売の仕事(販売業)<br>運送の仕事(運送業)<br>食品製造の仕事(食品製造業)<br>製造の仕事(製造業)<br>農業・漁業・畜産業　などの理解<br>②具体的な仕事の理解　～医療・福祉の分野～<br>介護福祉の仕事とは？<br>介護福祉士のやりがいは何でしょうか？<br>医療・福祉の分野における協力体制について |
| 添付資料 | 講義資料:キャリアデザイン～いろいろな職業～(秋保かがやき支援学校1年)<br>アンケート:紙媒体<br>その他:なし |



### 6.1.2.7　第７回 実証講座　（岩沼高等学園）

| | |
|---|---|
| 講座名 | 山形芋煮フェスティバル(販売事前学習) |
| 開催日時 | 2025年9月12日(金)<br>10時00分～11時30分(80／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校岩沼高等学園 |
| 対象者 | 生徒　12名、教員3名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人、補助:川崎加奈 |
| 教材 | 資料名:2025 年販売準備(収支計算計画)<br>媒体(紙媒体) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>①　販売目標、収支計算と粗利<br>収入と報酬<br>※山形芋煮フェスティバルに参加する生徒・教員と一緒に販売目標数や売り上げの確認を行った。その上で、収支計算の計画について共有を図りながら当日の具体的な準備作業を実施した。<br>② 衛生面に配慮した食材の準備(仕込み作業とは？)<br>実践(仙台リハビリテーション教員・学生と) |
| 添付資料 | 講義資料:<br>アンケート:紙媒体<br>その他: |




| 商品名 | 目標数 | 販売価格 | 売上 | 材料費等(原価) | 収益 | 利益（儲け）※粗利 | 出店料等 | 消耗品 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①かき氷 | 300 | 300 | | 28,682 | | | | |
| ②きゅうり | 420 | 150 | | 24,967 | | | | |
| ③アイスクリーム | 130 | 200 | | 6,580 | | | | |
| ④甘酒 | 100 | 200 | | 4,644 | | | | |
| 合計 | | | | | | | 53,000 | 10,000 |
| 報酬（岩沼生徒） | | | | | 13名 | | | |

### 6.1.2.8　第８・９回 実証講座　（岩沼高等学園）

| | |
|---|---|
| 講座名 | ハンズホールディング CUP2024 |
| 開催日時 | 2025年9月13日(日)－14日(月)<br>9時00分～17時30分(540／分)※60分休憩 |
| 場所 | シェルコム仙台 |
| 対象者 | |
| 担当 | 講師:理学療法士　瀬戸厚史・長谷川和貴 |
| 教材 | 資料名:なし |
| 実施内容等 | 職業教育の一環として余暇の過ごし方について検討を行った。その際に本事業の協力校の岩沼高等学園の教員の相澤教務部長が日本知的障がい者ソフトボール連盟理事長を務めており、余暇(ソフトボール)として岩沼高等学園ソフトボールチーム・宮城県選抜チームが参加予定の「ハンズホールディング CUP2025」に協力をさせて頂いた。<br><br>主な協力内容は理学療法士による怪我の予防や、コンディショニングの指導、当校仙台リハビリテーション専門学校学生によるグラウンド整備・ボールボーイ、各会場への送迎等である。<br><br>(この講座で学ぶ事)<br>安全な余暇(運動)の過ごし方の指導として怪我の予防やコンディショニングの方法などについて |
| 添付資料 | 講義資料:<br>その他:写真 |






### 6.1.2.9.　第 10 回 実証講座　（岩沼高等学園）

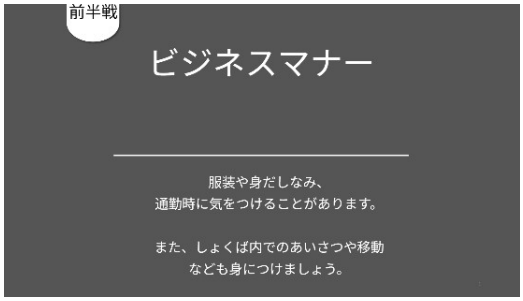
| | |
|---|---|
| 講座名 | 山形芋煮フェスティバル(販売事前学習) |
| 開催日時 | 2025年9月14日(金)<br>10時00分～15時00分(300／分)※60分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校岩沼高等学園 |
| 対象者 | 生徒　12名、教員4名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人、補助:吉田翔太 |
| 教材 | 資料名: |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・事前打ち合わせ<br>・事前準備<br>2. 実習(販売)<br>かき氷、アイスクリーム、甘酒、冷やしきゅうり、授業で収穫した野菜の販売と積極的な接客を行った<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① 販売方法・接客の方法・金銭の管理<br>※本年度は天候にも恵まれ想定していた実証が行えた。販売した商品はかき氷、アイスクリーム、甘酒、冷やしきゅうり、授業で収穫した野菜等であり売り上げもあった。生徒は主に呼び込みや、接客等の対応を行った。参加者は 1 年生から 3 年生の有志(希望者)であり、3 年生は実習の経験も豊富であるため下級生の見本にもなっていた。<br>② 衛生面に配慮した食材の管理(仕込み作業とは？)<br>実践(仙台リハビリテーション教員・学生と) |
| 添付資料 | 講義資料<br>アンケート:紙媒体<br>その他: |





## 6.1.2.10. 第 11 回 実証講座　（岩沼高等学園）

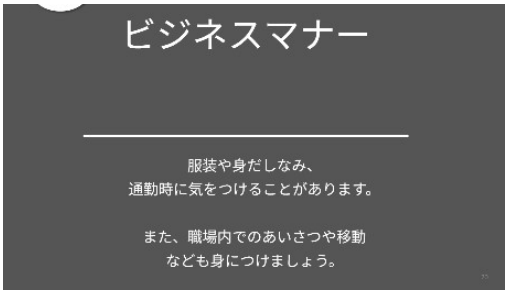
| | |
|---|---|
| 講座名 | ビジネスマナー |
| 開催日時 | 2025年9月16日(火)<br>13時30分～15時10分(90／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校岩沼高等学園 |
| 対象者 | 3年生　36名、教員4名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人 |
| 教材 | 資料名:ビジネスマナー<br>媒体(紙媒体、投影、Google ﾌｫｰﾑ) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① ビジネスマナーの基礎<br>・身だしなみについて<br>・言葉づかいについて<br>・挨拶の大切さ<br>② コミュニケーションについて<br>・書類の渡し方<br>・アドバイスの受け方<br>・ロールプレイ(メモの取り方)<br>③ 報告・連絡・相談<br>・報告・連絡・相談の大切さ<br>・協力して働くために必要な事<br>・ロールプレイ(書類の渡し方) |
| 添付資料 | 講義資料:ビジネスマナー<br>アンケート:紙媒体<br>その他:タブレット使用 |






### 6.1.2.11. 第 12 回 実証講座　（岩沼高等学園）

| | |
|---|---|
| 講座名 | ビジネスマナー |
| 開催日時 | 2025年9月17日(水)<br>13時30分～15時10分(90／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校岩沼高等学園 |
| 対象者 | 1年生　35名、教員4名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人 |
| 教材 | 資料名:ビジネスマナー<br>媒体(紙媒体、投影、Google ﾌｫｰﾑ) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① ビジネスマナーの基礎<br>・身だしなみについて<br>・言葉づかいについて<br>・挨拶の大切さ<br>② コミュニケーションについて<br>・書類の渡し方<br>・アドバイスの受け方<br>・ロールプレイ(メモの取り方)<br>③ 報告・連絡・相談<br>・報告・連絡・相談の大切さ<br>・協力して働くために必要な事<br>・ロールプレイ(書類の渡し方) |
| 添付資料 | 講義資料:ビジネスマナー<br>アンケート:紙媒体<br>その他:タブレット使用 |

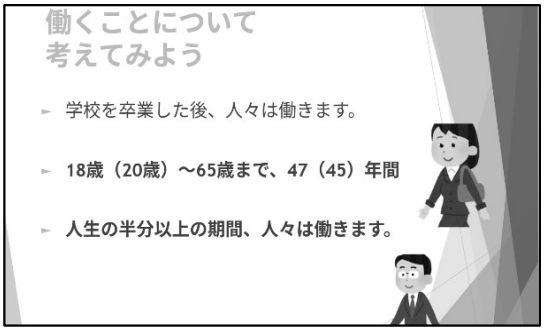





### 6.1.2.12.　第 13 回 実証講座　（秋保かがやき支援学校）

| | |
|---|---|
| 講座名 | 働く事の目的は？どんな人と働きたい？ |
| 開催日時 | 2025年10月2日(木)<br>10時45～12時25分(80／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立秋保かがやき支援学校 |
| 対象者 | 2年生　26名、教員名2名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人、補助:橘内駿 |
| 教材 | 資料名:【秋保かがやき支援学校】働く事の目的は？どんな人と働きたい？<br>媒体(紙媒体、投影) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① 職業キャリア学習・コミュニケーション<br>・挨拶はコミュニケーションの基本・入り口<br>・コミュニケーション(報告・連絡・相談)がなぜ大切なのか？<br>・コミュニケーションのメリット<br>・失敗したときの対処方法<br>② 職業キャリア学習・ライフプランとは？<br>・ライフプランとは<br>・たくさんのライフイベント<br>・自分の将来(目標)を考える<br>③ 職業キャリア学習働く目的は？！<br>・働く事の目的について |
| 添付資料 | 講義資料:【秋保かがやき支援学校】働く事の目的は？どんな人と働きたい？<br>アンケート:紙媒体<br>その他:なし |



### 6.1.2.13.　第 14 回 実証講座　（岩沼高等学園）

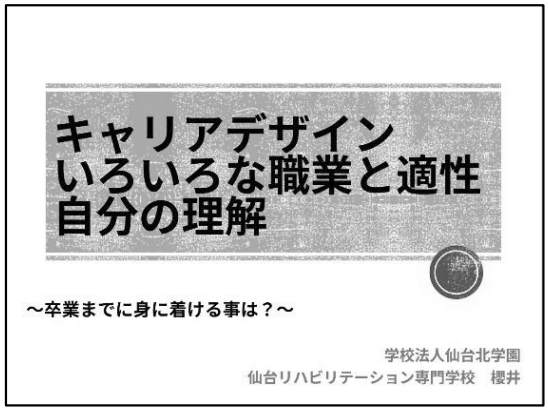
| | |
|---|---|
| 講座名 | 仙台リハビリテーション専門学校（販売実践） |
| 開催日時 | 2025年10月4日（土）<br>10時00分～13時30分（210／分）※60分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校岩沼高等学園 |
| 対象者 | 生徒5名、教員3名、仙台リハビリテーション専門学校学生3名 |
| 担当 | 講師：櫻井直人、補助：橘内駿 |
| 教材 | 資料名： |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・事前打ち合わせ<br>・販売価格の設定と確認<br>・販売準備（商品の陳列等）<br>2. 販売商品<br>・野菜（岩沼高等学園で収穫した）<br>・木工製品（岩沼高等学園で制作した）<br>・陶芸製品（岩沼高等学園で制作した）<br>3. 後始末（撤収作業等）<br>（この講義で学ぶこと）<br>② 販売の実践<br>・売り込み方法<br>・金銭の管理等<br>③ 衛生面に配慮した食材の管理等<br>販売の実践（仙台リハビリテーション教員・学生と） |
| 添付資料 | 講義資料：<br>その他：写真 |

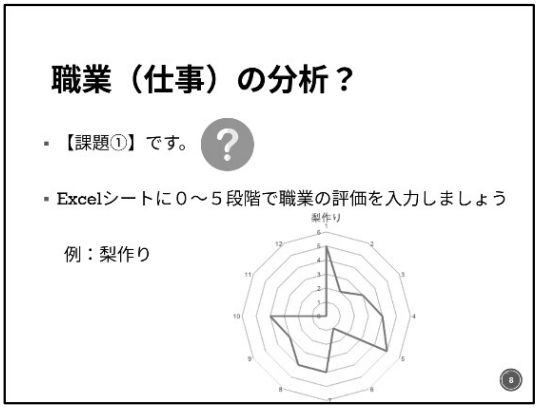




### 6.1.2.14. 第 15 回 実証講座 （秋保かがやき支援学校）

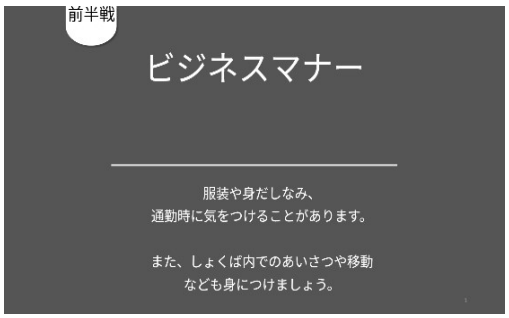
| | |
|---|---|
| 講座名 | キャリアデザイン・いろいろな職業と適性・自分の理解 |
| 開催日時 | 2025年10月7日(火)<br>13時00分～15時00分(90／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立秋保かがやき支援学校 |
| 対象者 | 2年生31名、教員5名 |
| 担当 | 講師：櫻井直人 |
| 教材 | 資料名：キャリアデザイン・いろいろな職業と適性・自分の理解 ～卒業までに身に付ける事は？～媒体(紙媒体、投影) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① 職業の理解・分析<br>・様々な職業(仕事)を理解する<br>・職業(仕事)の分析をする<br>・その職業(仕事)に必要な能力や適性を考える<br>② 自分(自己)の理解<br>・働くための自分自身の理解について<br>・良い所を活かし、課題を改善する事の大切さについて<br>・自分自身の分析<br>③ 卒業までに身に付ける事について(目標の設定と発表) |
| 添付資料 | 講義資料：キャリアデザイン・いろいろな職業と適性・自分の理解 ～卒業までに身に着ける事は？～<br>アンケート：紙媒体<br>その他：なし |



### 6.1.2.15.　第 16 回 実証講座　（秋保かがやき支援学校）

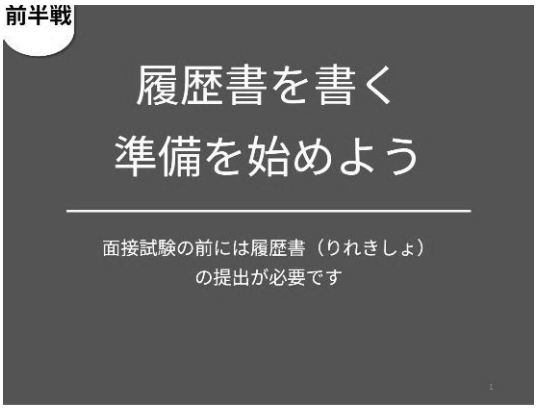
| | |
|---|---|
| 講座名 | ビジネスマナー |
| 開催日時 | 2025年10月08日(水)<br>9時50分～11時30分(90／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立秋保かがやき支援学校 |
| 対象者 | 1年生27名、教員6名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人　補助:吉田 |
| 教材 | 資料名:ビジネスマナー<br>媒体(紙媒体、投影、Google フォーム) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① ビジネスマナーの基礎<br>・身だしなみについて<br>・言葉づかいについて<br>・挨拶の大切さ<br>② コミュニケーションについて<br>・書類の渡し方<br>・アドバイスの受け方<br>・ロールプレイ(メモの取り方)<br>③ 報告・連絡・相談<br>・報告・連絡・相談の大切さ<br>・協力して働くために必要な事<br>・ロールプレイ(書類の渡し方) |
| 添付資料 | 講義資料:ビジネスマナー<br>アンケート:紙媒体<br>その他:タブレット使用 |

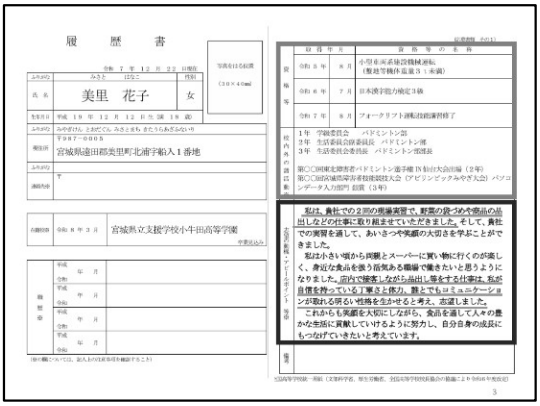





## 6.1.2.16. 第 17 回 実証講座 （小牛田高等学園）

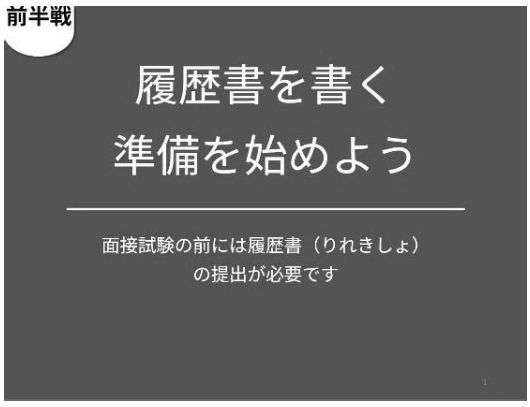
| | |
|---|---|
| 講座名 | 履歴書の書き方 面接指導 |
| 開催日時 | 2025年11月11日(火)<br>10時30分～12時00分(90／分)※休憩10分 |
| 場所 | 宮城県立支援学校小牛田高等学園 |
| 対象者 | 3年生18名、教員7名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人・橋本円(作業療法士) |
| 教材 | 資料名:履歴書の書き方 面接指導 |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① 履歴書を書く準備を始めよう<br>・自分自身の長所は？<br>・職場ではどのような得意(長所)が活かせますか？<br>② 面接の前に準備しておくこと<br>・面接時の服装<br>・面接時の態度<br>・就職希望の理由(動機)を伝える<br>・得意・苦手・配慮して欲しいこと<br>③ ロールプレイ<br>④ 学生発表 |
| 添付資料 | 講義資料:履歴書の書き方 面接指導<br>アンケート:紙媒体<br>その他:タブレット使用 |

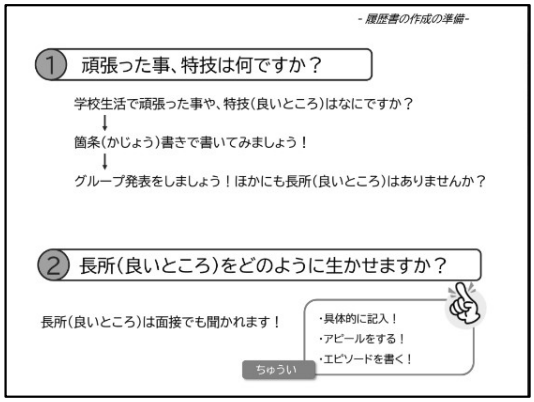


### 6.1.2.17.　第 18 回 実証講座　（大笹生支援学校）

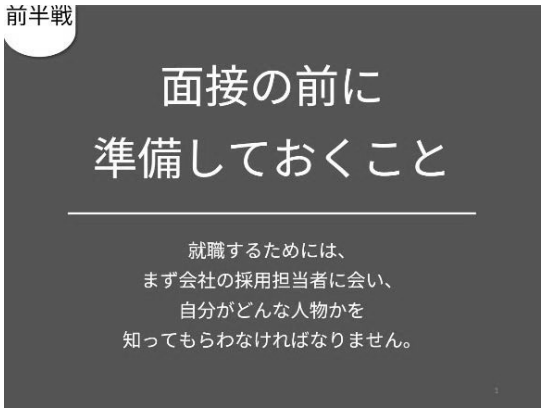
| | |
|---|---|
| 講座名 | 履歴書の書き方　面接指導 |
| 開催日時 | 2025年11月18日(火)<br>9時00分～10時20分(90／分)※休憩10分 |
| 場所 | 宮城県立大笹生支援学校 |
| 対象者 | 3年生11名、教員3名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人 |
| 教材 | 資料名:履歴書の書き方　面接指導 |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① 履歴書を書く準備を始めよう<br>・自分自身の長所は？<br>・職場ではどのような得意(長所)が活かせますか？<br>② 面接の前に準備しておくこと<br>・面接時の服装<br>・面接時の態度<br>・就職希望の理由(動機)を伝える<br>・得意・苦手・配慮して欲しいこと<br>③ ロールプレイ<br>④ 学生発表 |
| 添付資料 | 講義資料:履歴書の書き方　面接指導<br>アンケート:紙媒体<br>その他:タブレット使用 |

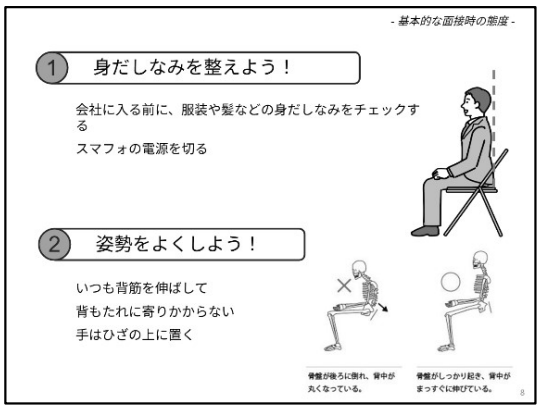


### 6.1.2.18.　第 19 回実証講座　（岩沼高等学園）

| | |
|---|---|
| 講座名 | 面接指導 |
| 開催日時 | 2025年11月25日(火)<br>10時50分～12時10分(80／分)※休憩10分 |
| 場所 | 宮城県立支援学校岩沼高等学園 |
| 対象者 | 3年生35名、教員3名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人 |
| 教材 | 資料名:履歴書の書き方　面接指導 |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>（この講義で学ぶこと）<br>① 面接の前に準備しておくこと<br>・面接時の服装<br>・面接時の態度<br>・就職希望の理由(動機)を伝える<br>・得意・苦手・配慮して欲しいこと<br>② 履歴書の内容を確認しよう<br>・就職試験を受ける仕事の内容を確認しよう<br>・自分自身の長所を伝える準備と練習<br>③ ロールプレイ<br>④ 学生発表 |
| 添付資料 | 講義資料:面接指導<br>アンケート:紙媒体<br>その他:タブレット使用 |

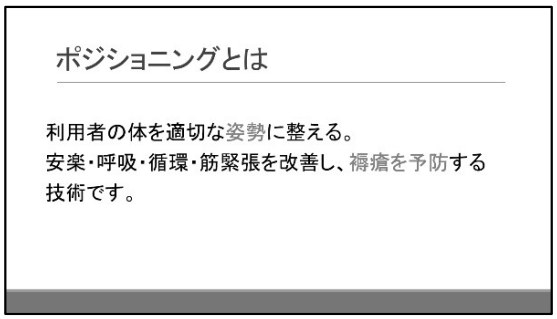


### 6.1.2.19. 第 20 回実証講座　（女川高等学園）

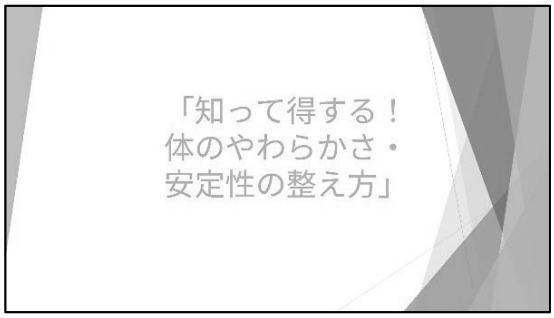
| | |
|---|---|
| 講座名 | 介護の講座「ポジショニングについて」 |
| 開催日時 | 2025年12月4日(木)<br>13時10分～14時40分(80／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校女川高等学園 |
| 対象者 | 1年生　4名、教員3名 |
| 担当 | 講師：窪木守(郡山健康科学専門学校介護福祉学科) |
| 教材 | 資料名：「ポジショニングについて褥瘡予防・関節拘縮予防」<br>媒体(紙媒体、投影) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① 褥瘡(じょくそう)とは<br>・褥瘡(じょくそう)が発生しやすい部位は？<br>② ポジショニングとは<br>・褥瘡の予防に必要なこと<br>・ポジショニングの目的<br>③ まとめ<br>・ポジショニングは根拠のある介護<br>・クッションの使い方が技術の「かぎ」<br>・安全・安楽、褥瘡予防・拘縮予防を意識した実践高齢者疑似体験 |
| 添付資料 | 講義資料：「ポジショニングについて褥瘡予防・関節拘縮予防」<br>アンケート：紙媒体<br>その他：なし |

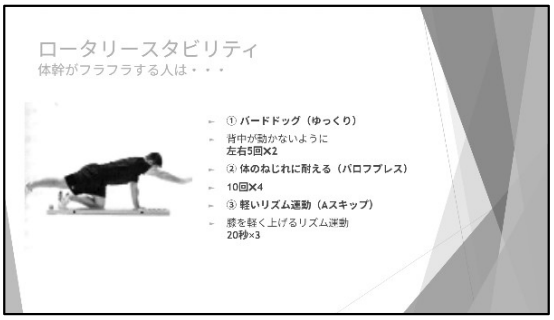


### 6.1.2.20. 第 21 回 実証講座　（小牛田高等学園）

| | |
|---|---|
| 講座名 | 理学療法士によるフィジカルコンディショニング講座開催 |
| 開催日時 | 2025年12月12日(金)<br>9時30分～12時30分(150／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立小牛田高等学園 |
| 対象者 | 生徒4名(合計) |
| 担当 | 講師:下平茂晴、補助:櫻井直人 |
| 教材 | 資料名:「知って得をする！・体のやわらかさ・安定性の整え方」 |
| 実施内容等 | 1. 実施準備・お迎え(スクールバス利用)<br>・地下的泉中央駅集合<br>2. 体験内容<br>・ディープスクワット<br>・ハードルステップ<br>・インラインランジ<br>・ASLR<br>・ロータリースタビリティ<br>など<br>3. 後始末(撤収作業等)<br>(この講義で学ぶこと)<br>①マシーンを使用した効果的な筋力トレーニング方法<br>②コンディショニングと怪我の予防について<br>③最大限のパフォーマンスを発揮するためのメンタルケア<br>④学内でのスポーツテストの結果の振り返り(個別運動指導) |
| 添付資料 | 講義資料:「知って得をする！・体のやわらかさ・安定性の整え方」<br>その他:写真 |
| 備考 | 今回も様々な学年の生徒が参加しており、学年の垣根を超えた交流の機会になっていたと思われる。 |

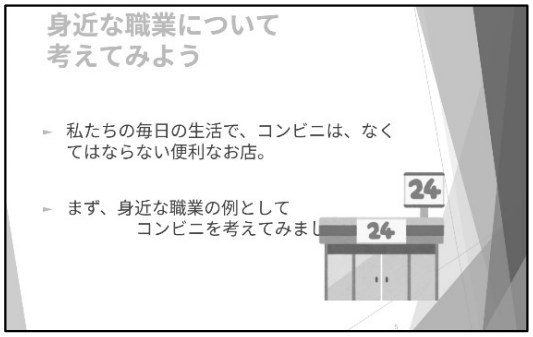


### 6.1.2.21.　第 22 回実証講座　（小牛田高等学園）

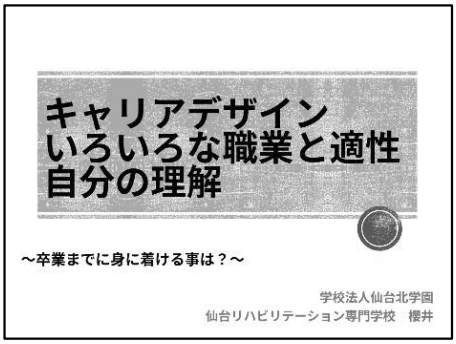
| | |
|---|---|
| 講座名 | 職業キャリア学習　いろいろな職業 |
| 開催日時 | 2026年1月19日(月)<br>13時10分～14時50分(80／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校小牛田高等学園 |
| 対象者 | 1年生23名、教員3名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人、補助:川﨑加奈 |
| 教材 | 資料名:キャリアデザイン～いろいろな職業～<br>媒体(紙媒体、投影) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>①いろいろな職業があって社会が成り立っている事<br>コンビニの店員さんを例にして具体的な仕事について考える<br>販売の仕事(販売業)<br>運送の仕事(運送業)<br>食品製造の仕事(食品製造業)<br>製造の仕事(製造業)<br>農業・漁業・畜産業　などの理解<br>②具体的な仕事の理解　～医療・福祉の分野～<br>介護福祉の仕事とは？<br>介護福祉士のやりがいは何でしょうか？<br>医療・福祉の分野における協力体制について |
| 添付資料 | 講義資料:キャリアデザイン～いろいろな職業～<br>アンケート:紙媒体 |

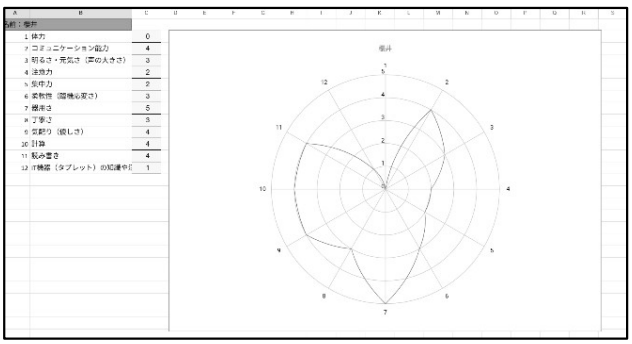


## 6.1.2.22.　第 23 回実証講座　（岩沼高等学園）

| | |
|---|---|
| 講座名 | キャリアデザイン・いろいろな職業と適性・自分の理解 |
| 開催日時 | 2026年1月22日(木)<br>10時50分～12時30分(100／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校岩沼高等学園 |
| 対象者 | 2年生31名、教員5名 |
| 担当 | 講師：櫻井直人 |
| 教材 | 資料名：キャリアデザイン・いろいろな職業と適性・自分の理解　～卒業までに身に着ける事は？～媒体(紙媒体、投影) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① 職業の理解・分析<br>・様々な職業(仕事)を理解する<br>・職業(仕事)の分析をする<br>・その職業(仕事)に必要な能力や適性を考える<br>② 自分(自己)の理解<br>・働くための自分自身の理解について<br>・良い所を活かし、課題を改善する事の大切さについて<br>・自分自身の分析<br>③ 卒業までに身に付ける事について(目標の設定と発表) |
| 添付資料 | 講義資料：キャリアデザイン・いろいろな職業と適性・自分の理解　～卒業までに身に着ける事は？～<br>アンケート：紙媒体<br>その他：なし |



### 6.1.2.23.　第 24 回実証講座　（岩沼高等学園）

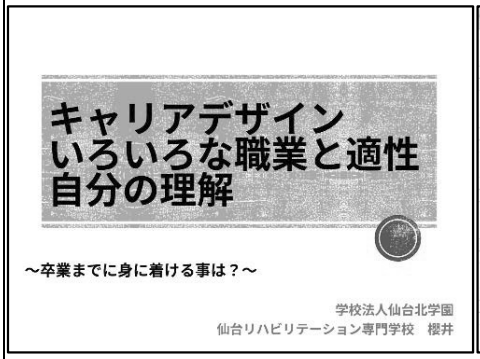
| | |
|---|---|
| 講座名 | 職業キャリア学習　いろいろな職業 |
| 開催日時 | 2026年1月22日(木)<br>13時30分～15時10分(90／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校岩沼高等学園 |
| 対象者 | 1年生34名、教員5名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人 |
| 教材 | 資料名:キャリアデザイン～いろいろな職業～<br>媒体(紙媒体、投影) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>①いろいろな職業があって社会が成り立っている事<br>・コンビニの店員さんを例にして具体的な仕事について考える<br>販売の仕事(販売業)<br>運送の仕事(運送業)<br>食品製造の仕事(食品製造業)<br>製造の仕事(製造業)<br>農業・漁業・畜産業　などの理解<br>②具体的な仕事の理解　～医療・福祉の分野～<br>介護福祉の仕事とは？<br>介護福祉士の働ける場所は？<br>介護福祉士のやりがいは何でしょうか？<br>医療・福祉の分野における協力体制について |
| 添付資料 | 講義資料:キャリアデザイン～いろいろな職業～<br>アンケート:紙媒体<br>その他:なし |

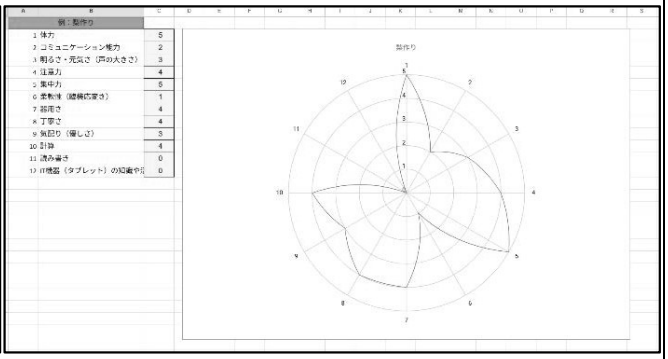





### 6.1.2.24.　第 25 回実証講座　（小牛田高等学園）

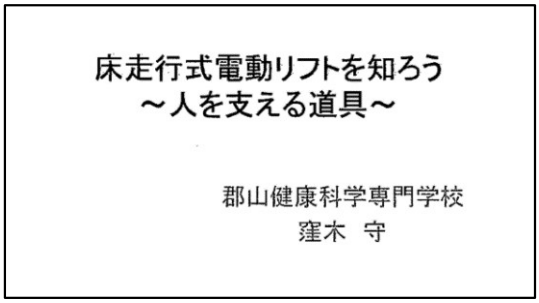
| | |
|---|---|
| 講座名 | キャリアデザイン・いろいろな職業と適性・自分の理解 |
| 開催日時 | 2026年1月27日(火)<br>10時40分～12時20分(100／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校小牛田高等学園 |
| 対象者 | 2年生15名、教員4名 |
| 担当 | 講師：櫻井直人 |
| 教材 | 資料名：キャリアデザイン・いろいろな職業と適性・自分の理解　～卒業までに身に着ける事は？～媒体(紙媒体、投影) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① 職業の理解・分析<br>・様々な職業(仕事)を理解する<br>・職業(仕事)の分析をする<br>・その職業(仕事)に必要な能力や適性を考える<br>② 自分(自己)の理解<br>・働くための自分自身の理解について<br>・良い所を活かし、課題を改善する事の大切さについて<br>・自分自身の分析<br>③ 卒業までに身に付ける事について(目標の設定と発表) |
| 添付資料 | 講義資料：キャリアデザイン・いろいろな職業と適性・自分の理解　～卒業までに身に着ける事は？～<br>アンケート：紙媒体 |

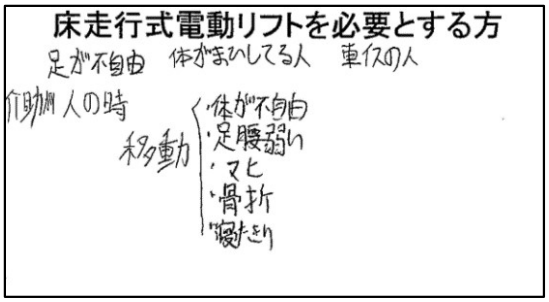


### 6.1.2.25.　第 26 回実証講座　（女川高等学園）

| | |
|---|---|
| 講座名 | 介護の講座「リフターの使用について」 |
| 開催日時 | 2026年1月29日(木)<br>13時10分～15時00分(100／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校女川高等学園 |
| 対象者 | 1年生4名、教員3名 |
| 担当 | 講師：窪木守(郡山健康科学専門学校介護福祉学科) |
| 教材 | 資料名：「床走行式電動リフトを知ろう～人を支える道具～」<br>媒体(紙媒体、投影) |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想、課題の確認<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① 授業の目的<br>・介護が「力仕事」だけではないことを知る<br>・人の尊厳・安全を守る福祉用具の役割を知る<br>・将来の仕事や社会とのつながりを考える<br>② 介護と福祉用具<br>・介護する人、される人、両方を守る道具である<br>③ 床走行式電動リフト<br>・必要とする方は？<br>・体験(無理に抱えない、怪我を防止する、恥ずかしい・怖い気持ちを減らす)<br>・リフトを使用する事で何が変わる？<br>④ まとめ(介護とは？・介護の仕事は？)<br>・「優しさ＋知識＋道具」<br>・「人の人生を支える仕事」 |
| 添付資料 | 講義資料：「床走行式電動リフトを知ろう～人を支える道具～」<br>アンケート：紙媒体 |



### 6.1.2.26. 第 27 回実証講座（女川高等学園・岩沼高等学園・秋保かがやき支援学校）

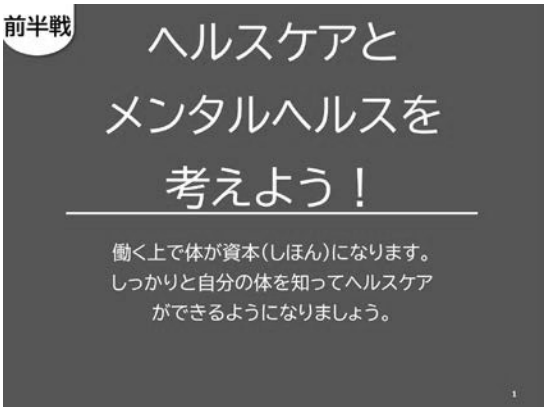
| | |
|---|---|
| 講座名 | 介護の講座「入浴介護・移乗（移動）の介護」 |
| 開催日時 | 2026年2月2日（月）<br>15時30分～15時00分（90／分）※10分休憩 |
| 場所 | 仙台医療福祉専門学校 |
| 対象者 | 生徒3年生5名（女川高等学園・岩沼高等学園川崎キャンパス）<br>教員6名（女川高等学園・岩沼高等学園川崎キャンパス・秋保かがやき支援学校） |
| 担当 | 講師：永野淳子（仙台医療福祉専門学校介護福祉学科）<br>：窪木　守（郡山健康科学専門学校介護福祉学科） |
| 教材 | 資料名：なし |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>3. 後始末<br>（この講義で学ぶこと）<br>① 入浴介助のポイント（見学と体験・実技演習）<br>・チェアー浴（座位浴）<br>⇒専用の車椅子に座ったまま浴槽に入るタイプ。座位を保持できる方<br>・ストレッチャー浴（臥位浴）<br>⇒寝たままの姿勢で入浴するタイプ。寝たきりの方や座る姿勢が難しい方が対象。<br>・リフト浴<br>⇒吊り下げ式や昇降式のリフトを使い、専用の椅子や担架を浴槽へ移動させるタイプ。<br>② 移乗（移動）<br>・移乗の福祉用具の体験<br>⇒「移乗です（いじょうです）」の体験（株式会社あかね福祉）。安全・簡単・迅速にベッドや車いす間の移動をサポートする介護ロボット（非装着型移乗支援機器）など<br>・車椅子の体験<br>⇒電動車椅子の体験や、使用・介助方法の確認　など<br>③ まとめ |
| 添付資料 | 講義資料：なし<br>アンケート：紙媒体 |
| | |

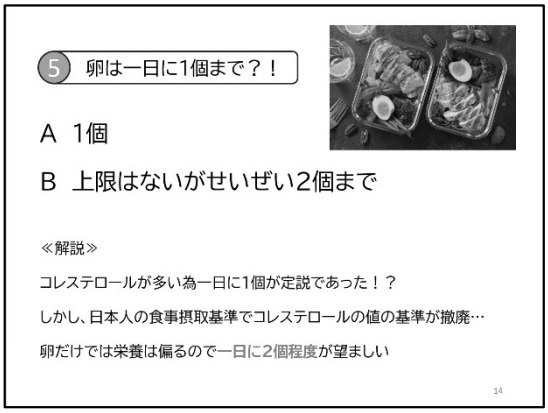
### 6.1.2.27. 第 28 回実証講座（女川等学園）

| | |
|---|---|
| 講座名 | 介護の講座「排泄、更衣介助について」 |
| 開催日時 | 2026年2月9日(月)<br>13時10分～14時40分(90／分)※10分休憩 |
| 場所 | 宮城県立支援学校女川高等学園 |
| 対象者 | 3年生2名、教員3名 |
| 担当 | 講師：永野淳子(仙台医療福祉専門学校介護福祉学科) |
| 教材 | 資料名：なし |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>3. 後始末<br><br>(この講義で学ぶこと)<br>① 前回の振り返り<br>・入浴介助のポイント<br>② 体験演習<br>・自分の脈拍計測<br>・聴診器で心音を聴く<br>・オムツ類(パッド、布おむつ、テープオムツ)の紹介<br>・オムツの吸収実験<br>・更衣介助：片麻痺を想定した着脱介助練習<br>③ まとめ |
| 添付資料 | 講義資料：なし<br>アンケート：紙媒体<br>その他：なし |
| 備考 | |

### 6.1.2.28. 第 29 回実証講座（小牛田高等学園）

| | |
|---|---|
| 講座名 | 健康管理(ヘルスケア)とメンタルヘルスを考えよう！ |
| 開催日時 | 2026年2月24日(火)<br>10時40分～12時20分(90／分)※休憩10分 |
| 場所 | 宮城県立支援学校小牛田高等学園 |
| 対象者 | 3年生18名、教員4名 |
| 担当 | 講師:櫻井直人(作業療法士) |
| 教材 | 資料名:「健康管理(ヘルスケア)とメンタルヘルスを考えよう！」 |
| 実施内容等 | 1. 実施準備<br>・資料投影の確認<br>・事前打ち合わせ<br>2. 講義<br>・講師紹介<br>・講義<br>・感想・アンケート<br>3. 後始末<br>(この講義で学ぶこと)<br>① ヘルスケアとメンタルヘルスを考えよう！<br>・ヘルスケアとは？<br>・栄養管理も大切<br>・筋肉をつくるために<br>② 体を動かしながら健康管理を考えよう<br>・腰痛予防と肩こり予防<br>・具体的なストレッチと筋トレ(体幹の機能とは？)<br>・メンタルヘルスと自律神経<br>・メンタルヘルスと心の病気 |
| 添付資料 | 講義資料:「健康管理(ヘルスケア)とメンタルヘルスを考えよう！」<br>アンケート:紙媒体<br>その他:タブレット使用 |



### 6.1.3.　実証講座の結果

今年度の実証講座では、実施後の生徒アンケート、特別支援学校高等部の教員及び実証講座担当講師からの意見、実施委員及びコーディネーターからの意見などを総合的に勘案することで検証を進めた。

すべての実施回で講座終了時に生徒へのアンケートを実施しているが、特別支援学校高等部ごとに集計した結果をグラフ化して掲載する。これらのアンケート結果から、生徒個々の講座の受け止めかたを確認することができたのは大きな成果のひとつであった。

**アンケート結果から見られた主な成果**

本年度の実証講座を通じて、生徒たちの「将来の進路（就職や進学）」に対する意識と学習意欲に大きな前向きな変化が確認された。アンケートの自由記述から総合的に読み取れる成果は以下の 2 点に集約される。

① 就労への具体的な意識づけとキャリアアップ意欲の向上 ビジネスマナーやライフプランに関する講座を通じて、「働くことの意味」や「将来の自分の姿」を自分事として捉えられるようになった生徒が多く見られた。「自分の将来やりたい事や仕事を知ることができた」、「自分が卒業したあとどうしたいのかを振り返ることができたので、これからはそれに向かって学校生活を送っていきたい」といった声が多数寄せられた。 漠然とした将来への不安が、「実習や社会人に向けて今から実践したい」という自発的な行動意欲へと変化しており、中には「資格を取得したり、色々な検定にチャレンジしたい」と、より高いキャリアアップへの意欲を示す生徒も見受けられた。

②「進学」という新たな進路選択と専門分野（もっと学びたい）への興味の広がり 専門学校の講師が関わる講座（特に介護や医療・福祉分野）を通じて、生徒たちの進路の選択肢に「専門学校へ進学してもっと専門的なことを学びたい」という明確な意識が芽生えていることが確認できた。「介護のことや色々なお仕事について分かりやすく教えてくれて勉強になった。卒業後は進学する予定なので諦めず頑張りたい」、「どこにいこうか悩んでいたが、この授業を受けて介護で勉強したいと心に残った」、「介護に少し興味を持った」など、実証講座が未知の分野への興味を強く引き出している。

これらの結果から、本事業の教育プログラムは、生徒に単なる実務スキルを教えるだけでなく、自らの人生を主体的に考え、「もっと深く学びたい」「専門的な仕事に就きたい」という、進学・就職に向けた未来への強いモチベーションを醸成する上で、極めて有効に作用していると評価できる。

次頁より各校のアンケート結果を示す。

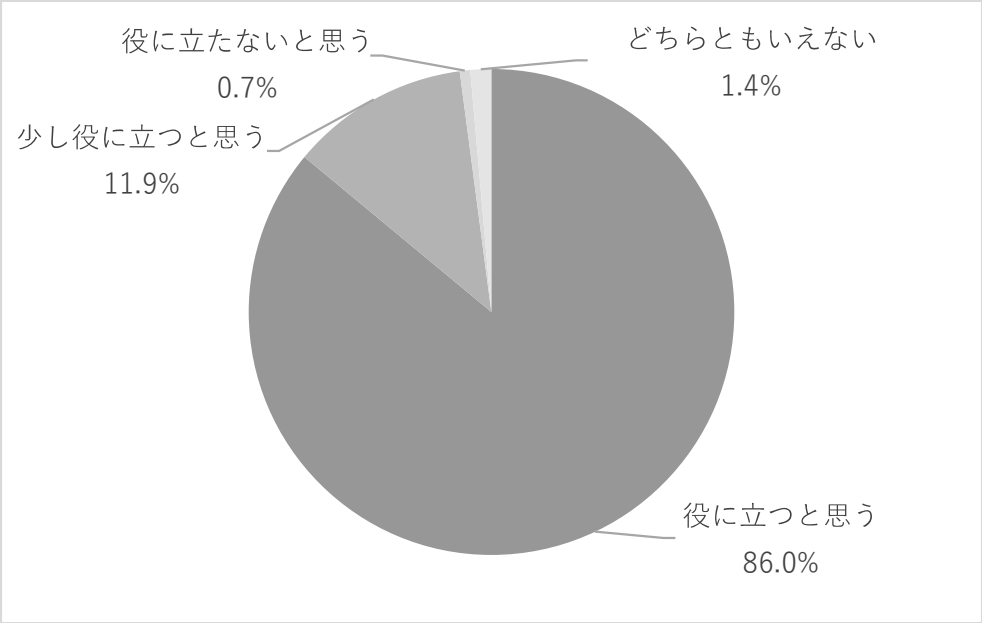
**岩沼高等学園**

講座参加生徒数 のべ 143 名（1 年生 35 名、2 年生 37 名、 3 年生 71 名）

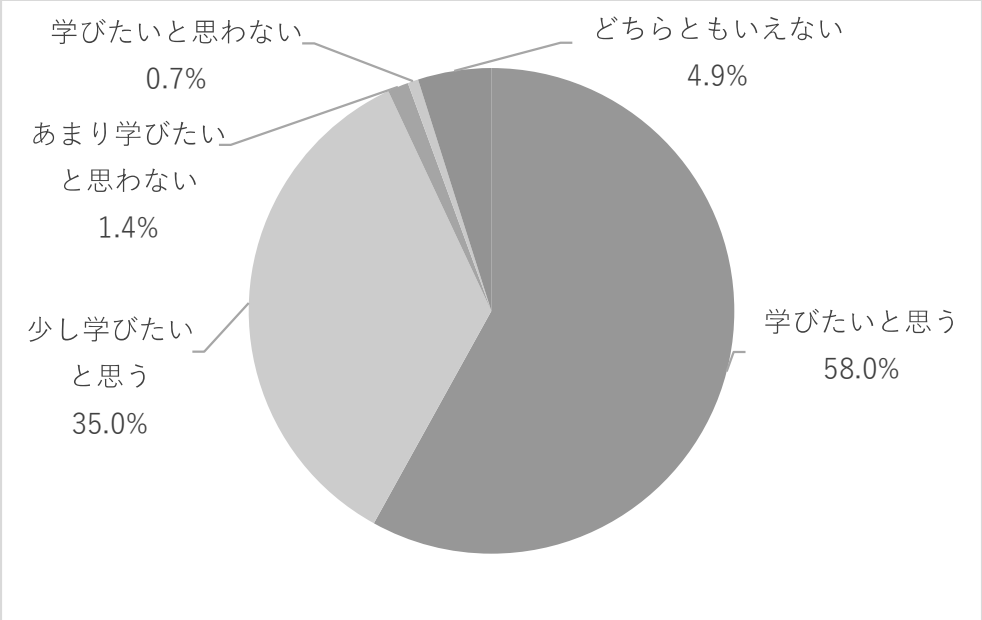
アンケート回答数 143 名

＊設問(6) 自由記入欄は全て巻末に示す

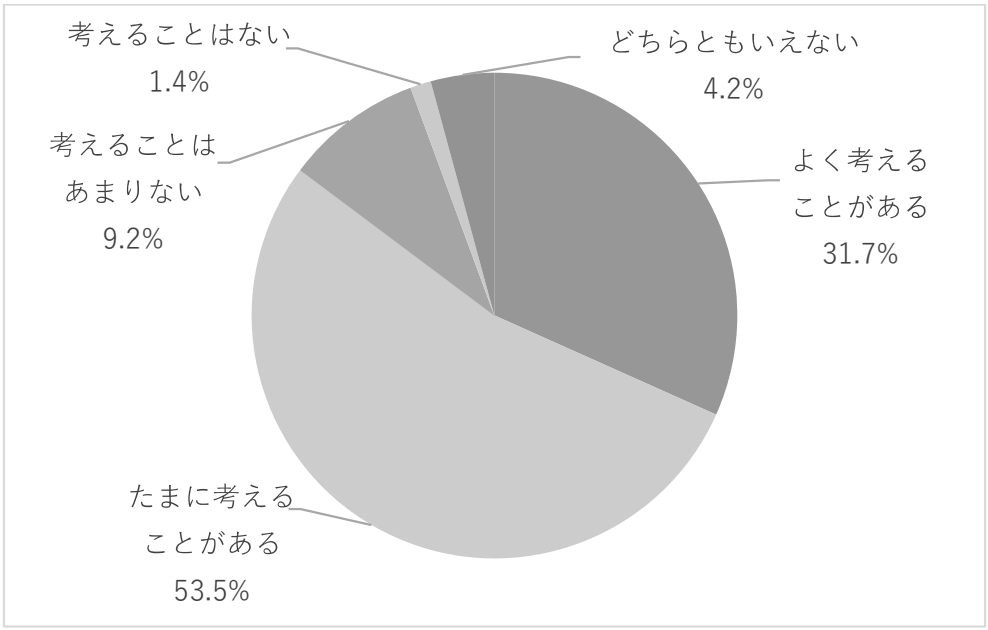
(1) 今日の授業の内容はこれからの学習や卒業した後、役に立つと思いますか。



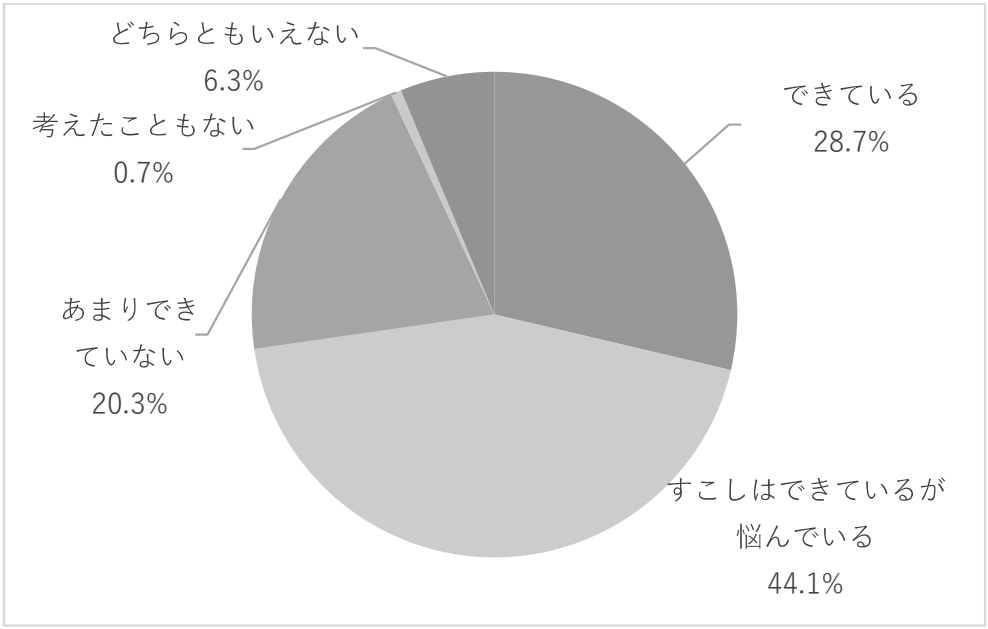

(2) 就職や進学など将来の進路について、学びたいと思いますか。



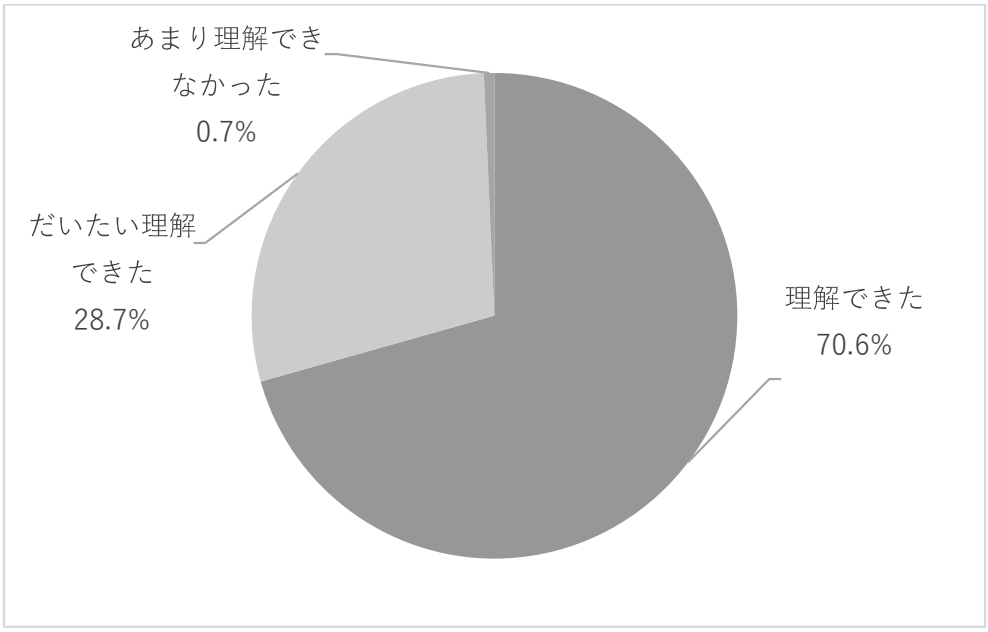
(3) 就職・進路など高等学園を卒業した後の自分の進路について、もっともあてはまるものはどれですか




(4) 就職・進学など高等学園を卒業した後の自分の進路が具体的にイメージできていますか。



(5) 授業の内容は理解できましたか。




（6）授業の内容など、感想をお聞かせください。＊

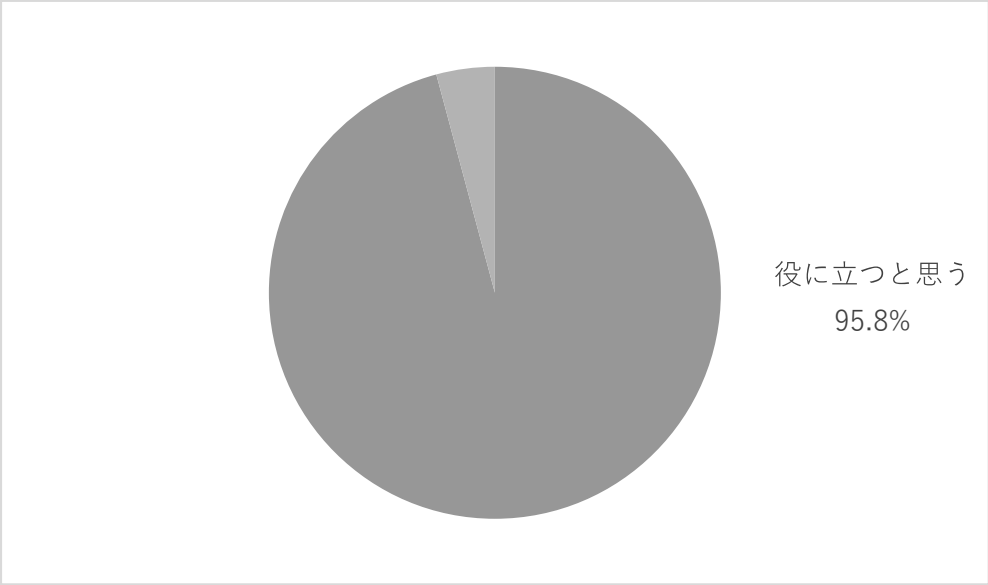
**小牛田高等学園**

講座参加生徒数 のべ 96 名（1 年生 28 名、2 年生 32 名、 3 年生 36 名）

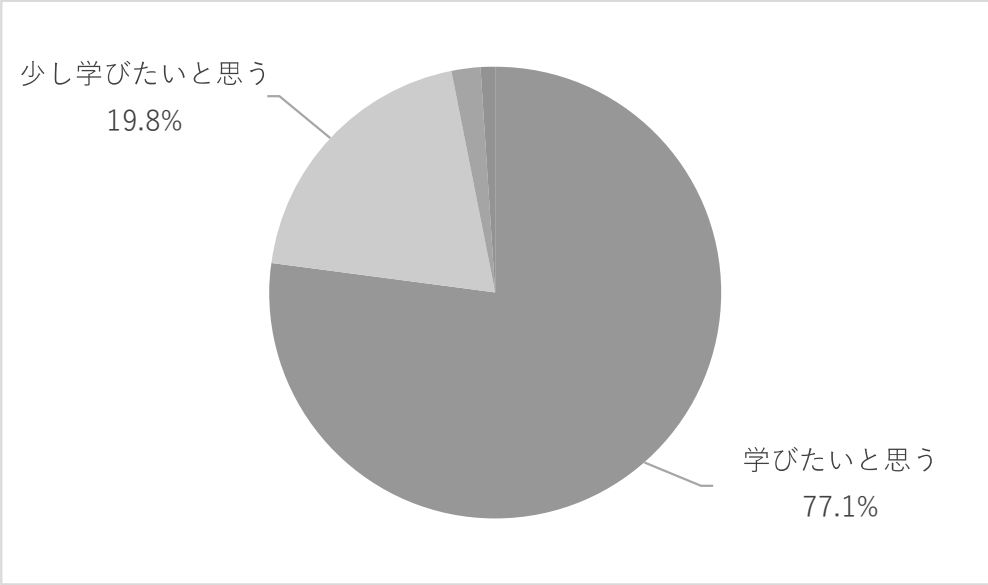
アンケート回答数 96 名

＊設問(6) 自由記入欄は全て巻末に示す

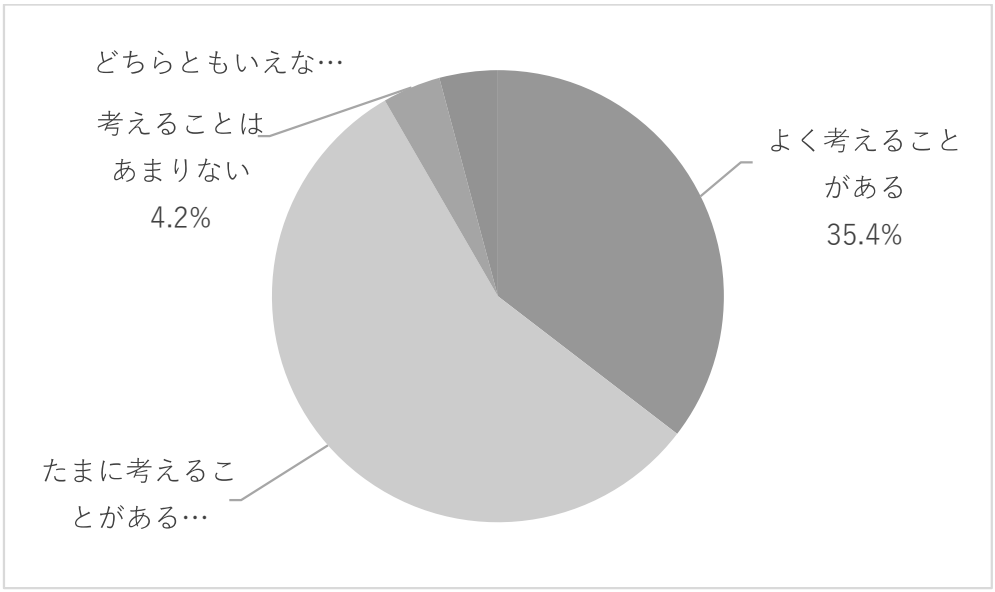
(1) 今日の授業の内容はこれからの学習や卒業した後、役に立つと思いますか。



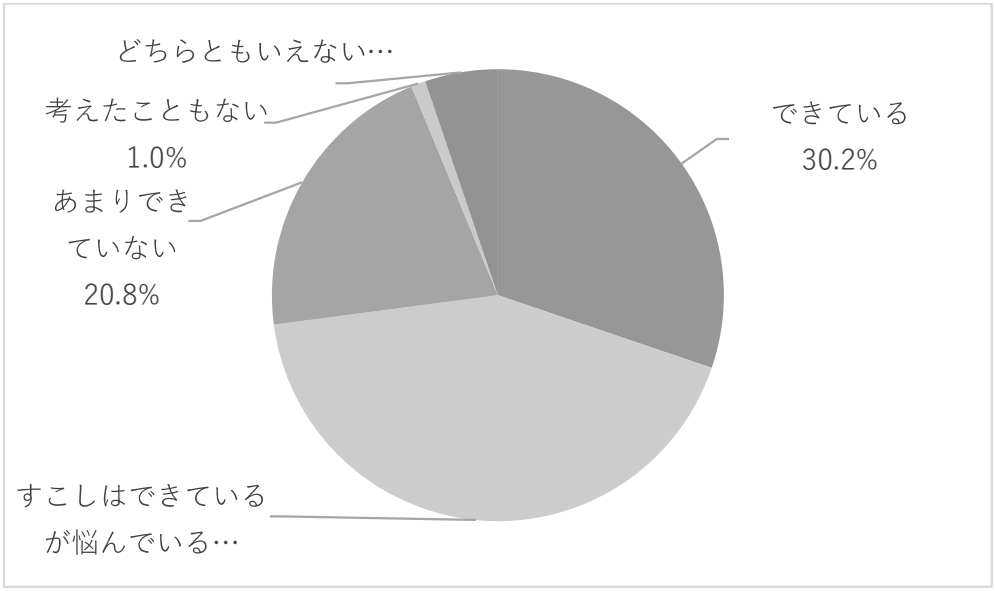

(2) 就職や進学など将来の進路について、学びたいと思いますか。



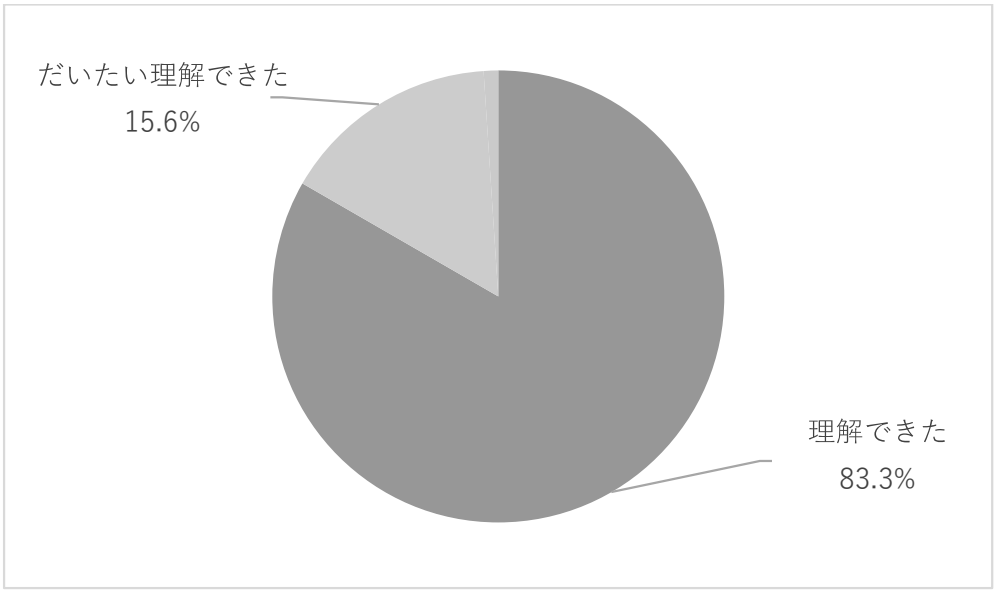
(3) 就職・進路など高等学園を卒業した後の自分の進路について、もっともあてはまるものはどれですか




(4) 就職・進学など高等学園を卒業した後の自分の進路が具体的にイメージできていますか。



(5) 授業の内容は理解できましたか。




（6）授業の内容など、感想をお聞かせください。＊

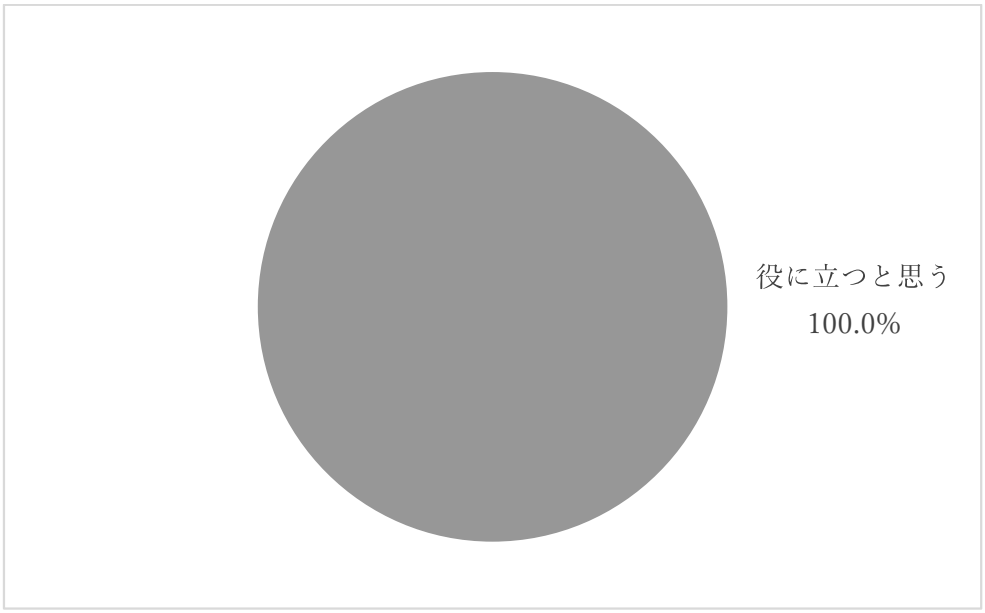
**女川高等学園**

講座参加生徒数 のべ 6 名（1 年生 4 名、3 年生 2 名）

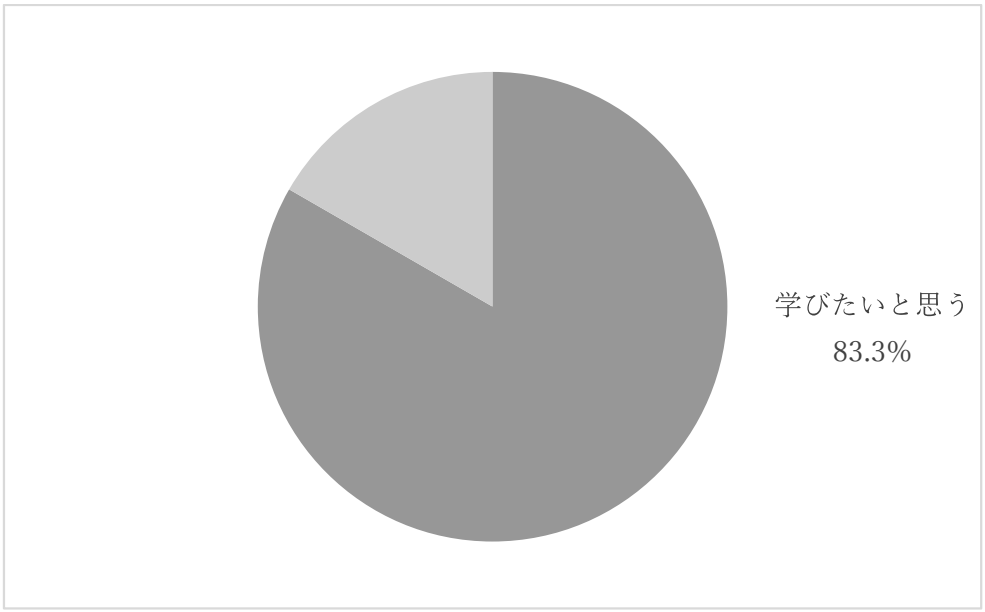
アンケート回答数 6 名

＊設問(6) 自由記入欄は全て巻末に示す

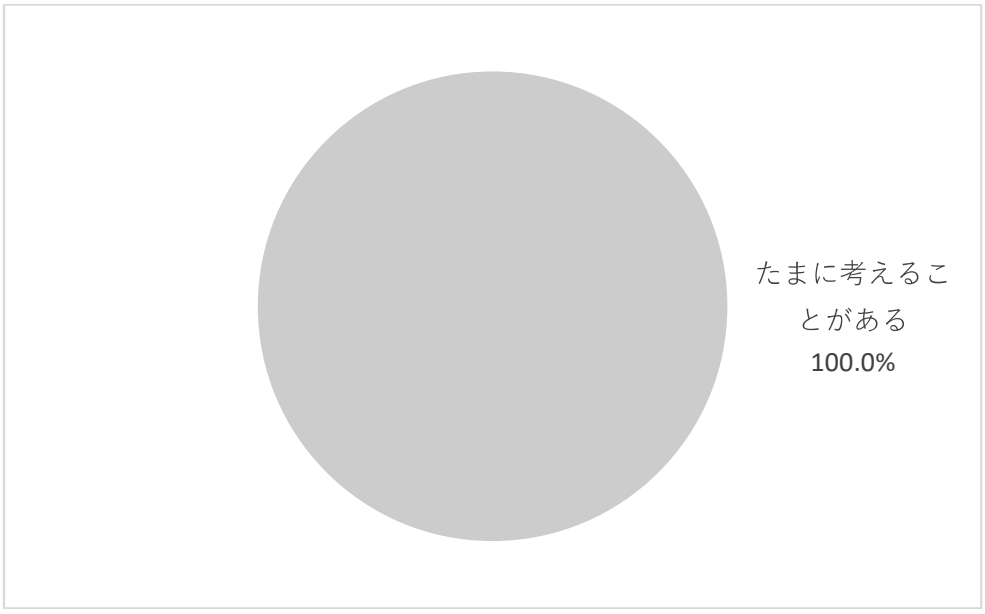
(1) 今日の授業の内容はこれからの学習や卒業した後、役に立つと思いますか。



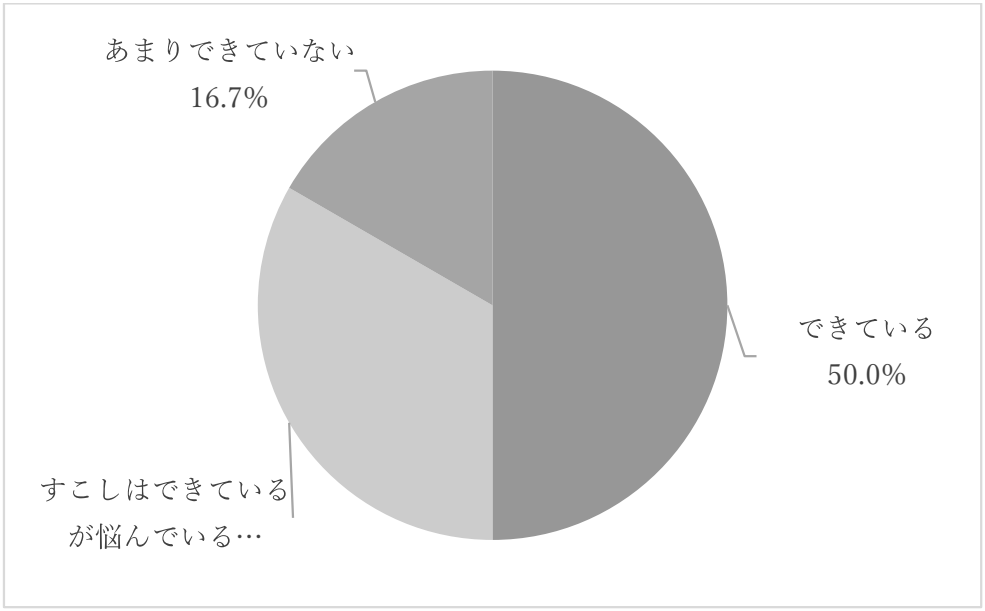

(2) 就職や進学など将来の進路について、学びたいと思いますか。



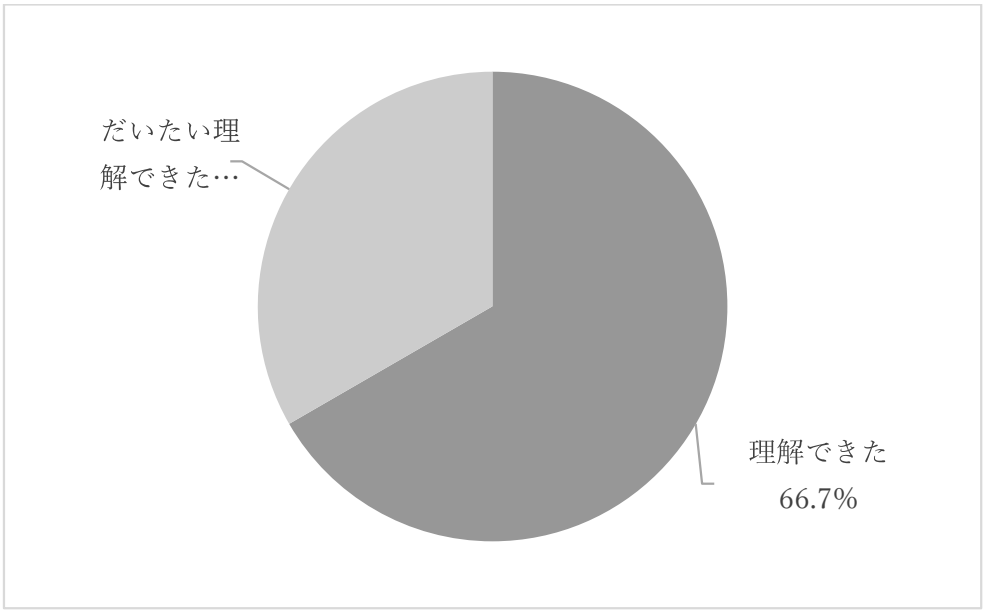
(3) 就職・進路など高等学園を卒業した後の自分の進路について、もっともあてはまるものはどれですか




(4) 就職・進学など高等学園を卒業した後の自分の進路が具体的にイメージできていますか。



(5) 授業の内容は理解できましたか。




（6）授業の内容など、感想をお聞かせください。＊

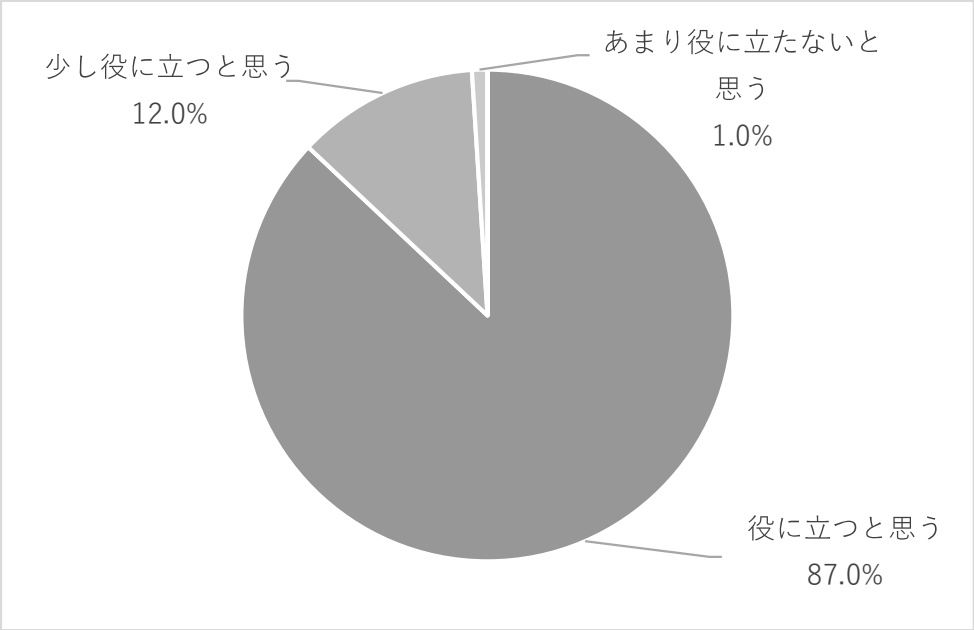
**秋保かがやき支援学校**

講座参加生徒数 のべ 100 名（1 年生 55 名、2 年生 45 名）

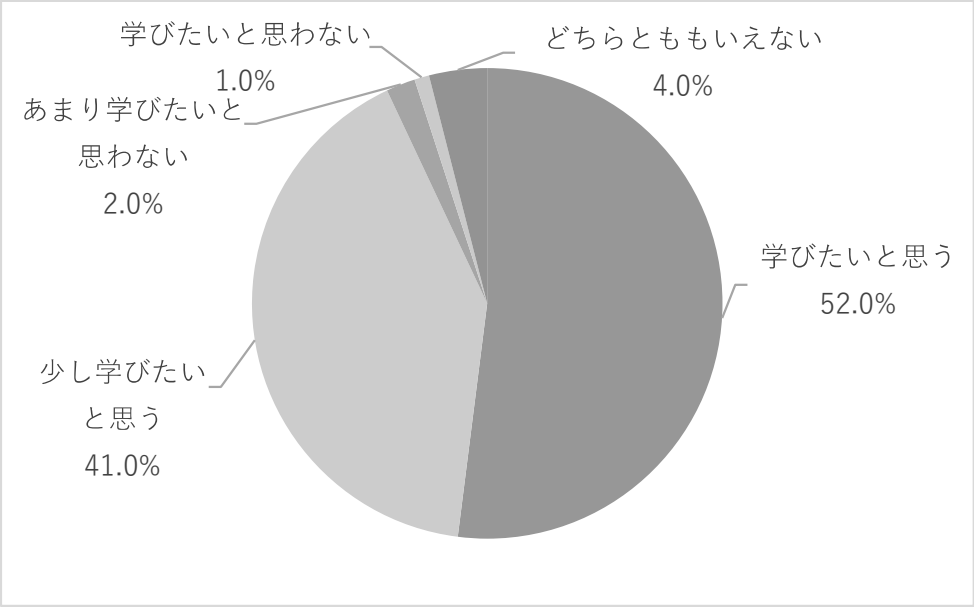
アンケート回答数 100 名

＊設問(6) 自由記入欄は全て巻末に示す

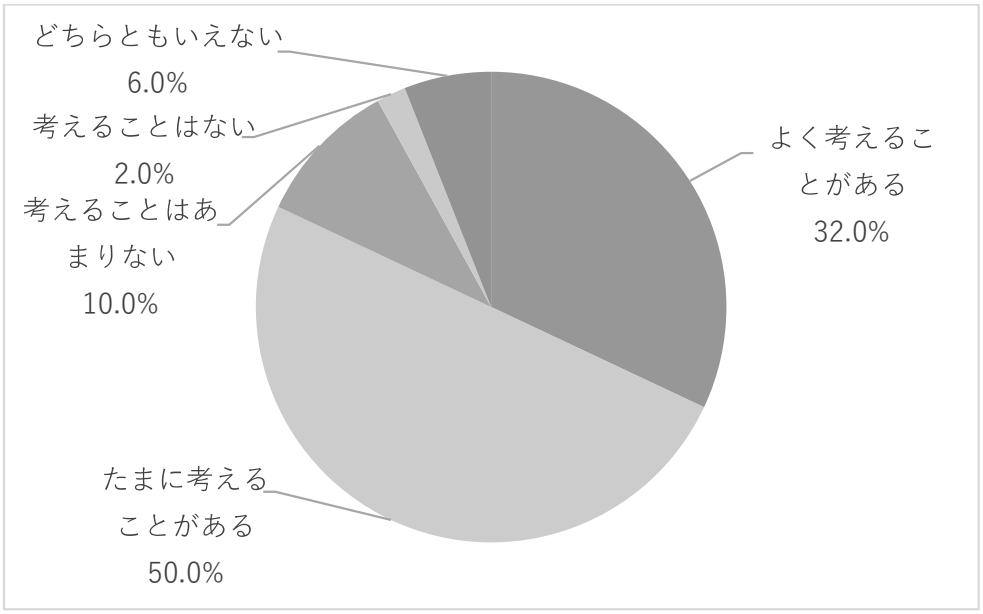
(1) 今日の授業の内容はこれからの学習や卒業した後、役に立つと思いますか。



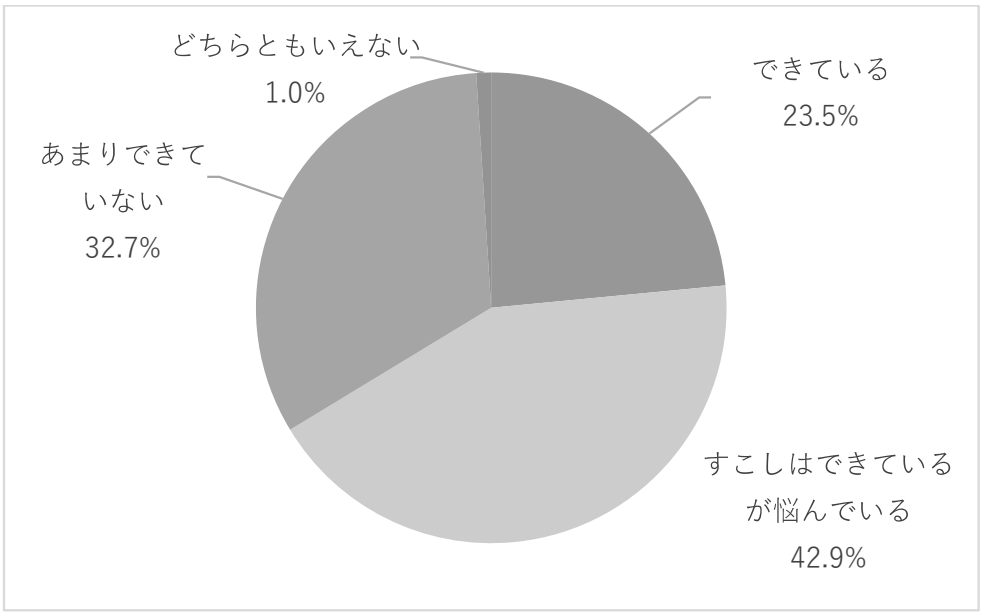

(2) 就職や進学など将来の進路について、学びたいと思いますか。



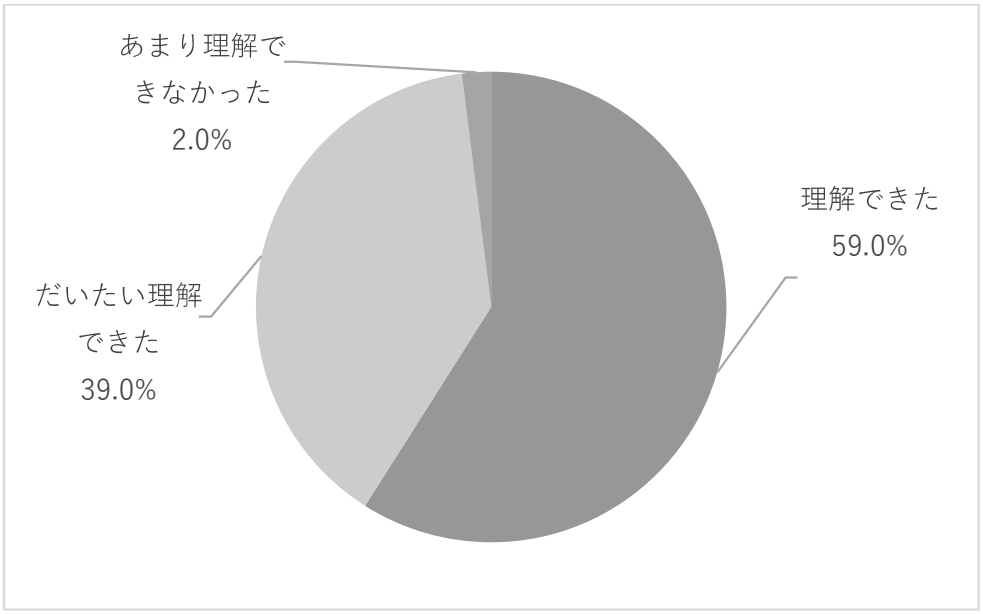
(3) 就職・進路など高等学園を卒業した後の自分の進路について、もっともあてはまるものはどれですか




(4) 就職・進学など高等学園を卒業した後の自分の進路が具体的にイメージできていますか。



(5) 授業の内容は理解できましたか。




（6）授業の内容など、感想をお聞かせください。＊

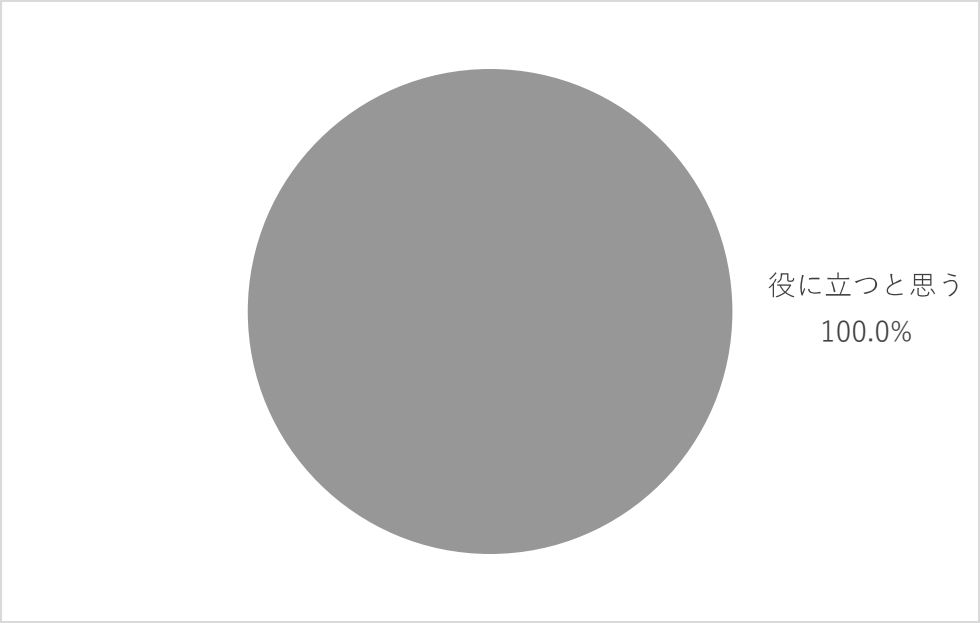
**大笹生支援学校**

講座参加生徒数 のべ 11 名（３年生 11 名）

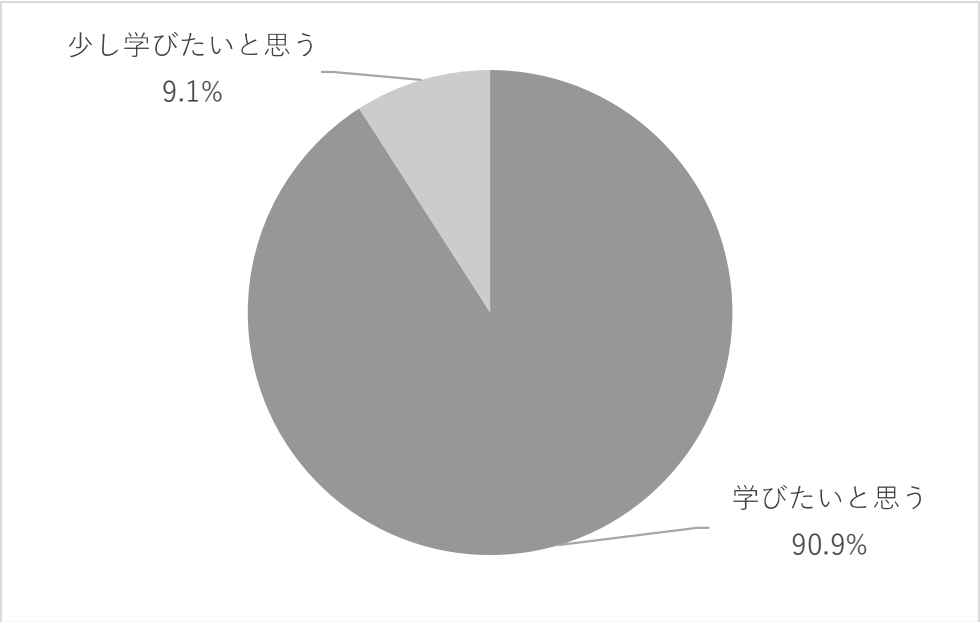
アンケート回答数 11 名

＊設問(6) 自由記入欄は全て巻末に示す

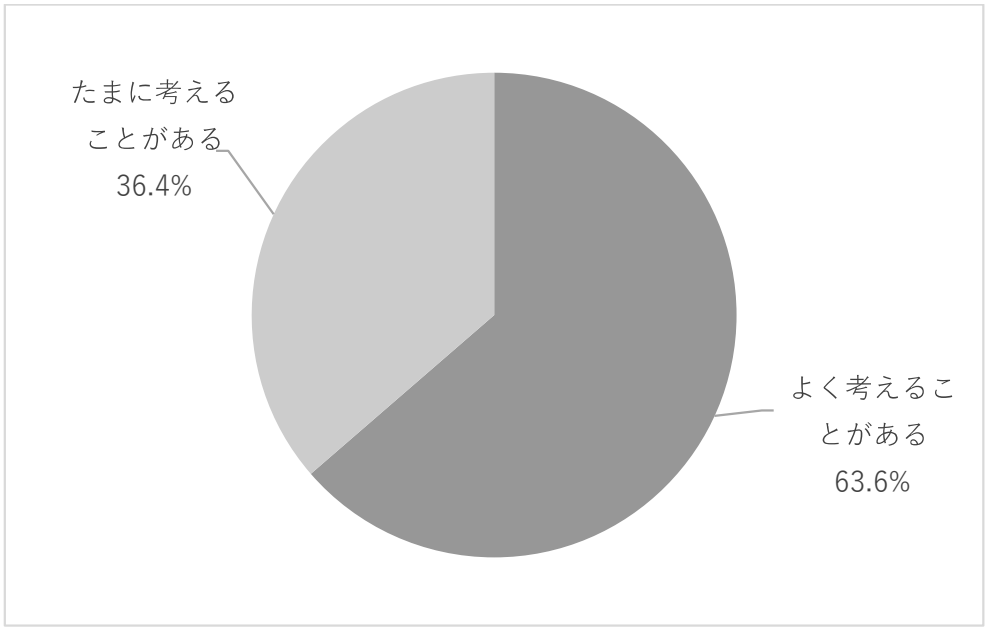
(1) 今日の授業の内容はこれからの学習や卒業した後、役に立つと思いますか。



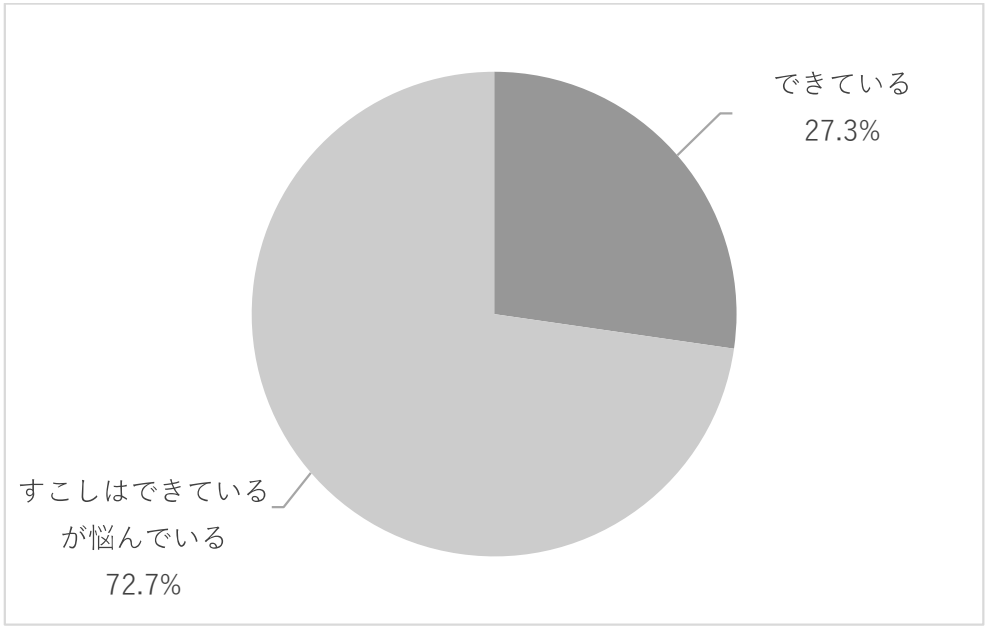

(2) 就職や進学など将来の進路について、学びたいと思いますか。



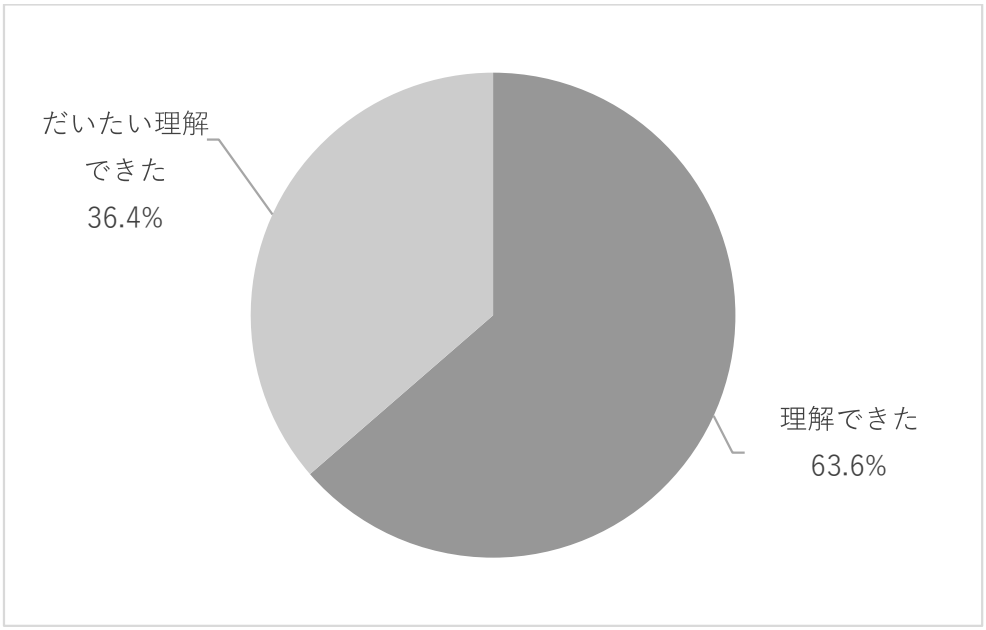
(3) 就職・進路など高等学園を卒業した後の自分の進路について、もっともあてはまるものはどれですか




(4) 就職・進学など高等学園を卒業した後の自分の進路が具体的にイメージできていますか。



(5) 授業の内容は理解できましたか。




（6）授業の内容など、感想をお聞かせください。＊

## 6.2.　高等部・高等学園間の連携支援の実施

### 6.2.1.　実証講座の相互交流・意見交換の実施

高等部・高等学園同士の相互交流と、教員の指導力向上（OJT）を目的とした連携を強化した。 具体的には、仙台医療福祉専門学校（介護福祉学科）で実施した、介護分野の専門学校への進学を想定した活動において、女川高等学園、岩沼高等学園、秋保かがやき支援学校（川崎キャンパス含む）の 3 校が合同で参加する体制をとった。この講座には福祉コースの生徒だけでなく、各校の福祉担当教員計 6 名も参加し、専門学校教員から生徒への指導方法を直接学ぶ OJT の機会とした。これにより、学校間の垣根を超えた教育ノウハウの共有と、専門学校・支援学校教員間の相互理解が促進された。 また、年 3 回開催された実施委員会において、各校責任者に加え、行政、企業、職能団体を交えた意見交換を行い、多角的な視点から事業の検証を行った。

**図表 6-2　講座当日の様子**




### 6.2.2.　教職員対象の講座の実施

高等部と専門学校の連携強化および専門学校教育への理解促進をねらいとして、教職員が実証講座へ参加・体験する機会を設けた。 前述の介護福祉学科での教員参加（OJT）に加え、仙台リハビリテーション専門学校で実施した「フィジカルコンディショニング講座（体作り等の講座）」においても、専門学校教育に関心を持つ高等部教員の参加を受け入れた。 さらに、進学を見据えたより専門的な支援体制の構築として、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（宮城障害者職業センター）と連携し、仙台リハビリテーション専門学校教職員 2 名が「障害者職業生活相談員」の資格を取得した。これにより、専門的知見に基づく進路指導や職場定着支援の実践力を高める成果が得られた。

### 6.2.3.　生徒の保護者による講座の参観・保護者対象の講座の実施

生徒の保護者に対し、専門学校教育への理解を深めてもらうための参観・相談の機会を設定した。 本年度は、前述の仙台リハビリテーション専門学校での「フィジカルコンディショ

ニング講座」において、専門学校進学等に興味を持つ保護者の参加を実現した。 さらに、実際にペット・動物系の専門学校への進学を希望し合格した生徒（大笹生支援学校）のケースでは、入学前の不安を解消するため、１月に保護者、担任、進路指導主事を交えた三者面談を実施した。この中で、専門学校側から在学中の学習・生活支援（作業療法士によるスタディコーチ支援）について具体的な提案を行い、保護者からは高い評価と安心の声を得ることができた。

## 6.3.　教育プログラムの開発

### 6.3.1.　カリキュラム策定の基本方針（2025 年度版）

カリキュラム策定の基本方針は前年度と大きな相違はないが、今年度の実証講座の実施実績を踏まえて、各校の個別ニーズなどへの柔軟な対応を方針として明記する。

〇テーマごとで完結した講座を単位としてカリキュラムを構成する。

〇授業で運用しやすいように、以下の講座を設定する。

高等部：一講座は 1～3 コマ程度（1 コマ 45 分）を基本とする。

各学年について、計 10 講座（30 コマ）程度の講座をメニュー化する。

専門学校：一講座は 3 コマ程度（1 コマ 50 分）を基本とする。

各学年について、計 5 講座（15 コマ）程度の講座をメニュー化する。

〇これらの講座メニューから、生徒や学生の目標や能力、将来のキャリア形成を考慮し、各校が必要と判断する講座を選択する。選択された講座を多様な個性に応じてカスタマイズし実施する。

### 6.3.2.　カリキュラム（2025 年度版）

昨年度事業で策定したカリキュラムを見直し、教育ニーズや現場の状況に対応した改訂を行い、カリキュラム 2025 年度版として取りまとめた。 具体的には、今年度実施した実証講座の検証結果を反映させるとともに、特別支援学校高等部の生徒等を対象とする職業教育・社会生活教育に関わる既存のカリキュラムや教材事例 26 件（次頁一覧参照）を収集・整理し、それらを参考として議論を重ねた。これらの検討を経て、講座の構成や各講座の学習目標・内容、指導方法の改善・詳細化を図った。なお、既存のカリキュラムや教材の事例収集についての詳細は巻末資料を参照いただきたい。

**図表 6-3　参考としたカリキュラム・教材事例収集一覧**

| カテゴリー<br>（収集事例数） | 主な収集・分析対象（事例名） | カリキュラム2025年度版への<br>活用・反映内容 |
|---|---|---|
| 就職活動・キャリア教育<br>（7事例） | 1. 知的障害・発達障害の人たちのための 見てわかる社会生活ガイド集<br>2. 現場発！知的・発達障害者の就労自立支援<br>3. みんなのライフキャリア教育<br>4. 自立活動の授業 de ライフキャリア教育<br>5. 就労移行支援（株式会社ウェルビー等） | ・「社会生活教育」領域において、単なる就労準備ではなく「ライフプランニング（人生設計）」や「トラブル回避」を学ぶ単元を拡充した。<br>・生徒が自身の「働き続けるための課題」に気づくためのチェックリスト等を教材に盛り込んだ。 |
| 健康管理・ヘルスケア<br>（4事例） | 1. 改訂新版 くらしに役立つ保健体育<br>2. 知的・発達障がい者の感染症対策<br>3. 知っておきたい 知的障害者の医療と保健衛生[基礎編]<br>4. 働くあなたの健康管理ハンドブック | 「健康管理」教材において、理学療法士の知見を取り入れ「自分の身体を整える（コンディショニング）」という実践的なスキル学習を中核に据えた。 |
| 介護分野・専門職訓練<br>（4事例） | 1. 令和7年度 障がいのある方が対象の職業訓練カリキュラム（大阪府）<br>2. 介護初任者研修（ワーカーズコープ北海道）<br>3. 山形県障がい者対象訓練 ～介護施設でのお仕事～<br>4. 介護職員初任者研修課程テキスト ふりがな付 | ・「専門学校進学（介護分野）」に向けた新規教材において、専門用語（ポジショニング等）を生徒がイメージしやすい言葉やオノマトペで解説する「指導ガイド」の設計に直結させた。<br>・専門学校との連携動画の構成（雰囲気の可視化）に活用した。 |
| ICT・パソコン活用<br>（6事例） | 1. 知的障害特別支援学校のICTを活用した授業づくり<br>2. 発達障害のある子供たちのためのICT活用ハンドブック<br>3. 研修情報・ICTガイドブック（山口県）<br>4. 知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践<br>5. 在宅型パソコン訓練<br>6.『やってみよう！パソコンデータ入力』 | ・「デジタル社会のリテラシー」教材において、操作練習にとどまらず、「ICTを使って体調を記録する」「情報を調べる」といった生活密着型の活用場面を増やした。<br>・入力業務の正確性を高める訓練手法を参考にした。 |
| 生成AI・先端技術<br>（5事例） | 1. 知的障害特別支援学校中学部における生成AIの理解と学びへの活用に関する教育実践<br>2. 八王子市立上柚木中学校 特別支援教室（対話型AI活用）<br>3. 兵庫県立水上特別支援学校 事例（興味関心×AI）<br>4. 全国国立大附属特別支援学校調査報告（生活スキル×AI）<br>5. タッチパネルや視覚的タイマーで生活リズム支援 | ・本事業の核心である「指導用ガイド」の作成方針として「抽象的な概念（見えないもの）を、感覚や視覚的イメージに変換して伝える」というコンセプトの理論的支柱とした。<br>・PBL教材において、生成AIをアイデア出しや可視化の補助ツールとして導入する設計の根拠とした。 |

以下に 2025 年度版のカリキュラム（講座の構成と概要）を一覧で示す。

**図表 6-4　カリキュラム**

| 学年 | 講座名 | コマ数 |
|---|---|---|
| 1 年生 | (1) いろいろな職業を知ろう<br>モノをつくる仕事、モノを売り買いする仕事、サービスする仕事の内容とその職種について学習する。 | 1～3 |
| | (2) 働くことについて考えよう<br>働くことの目的や意義について考えを深める。これにより、将来に向けた職業意識を養う。 | 1～3 |
| | (3) 社会のしくみを知ろう<br>社会の中でいろいろな職業がどのような役割を果たしているのかを学習する。 | 1～3 |
| | (4) 自分自身を管理しよう<br>自己管理とはなにか、その目的や大切さ、具体的な方法について学習する。 | 1～3 |

| | | |
|---|---|---|
| | (5) 健康管理をしよう<br>身体の状態（バイタル管理）を理解し、自分で健康管理ができるように学習する。 | 1～3 |
| | (6) メンタルヘルスとは何かを学ぼう<br>心と身体の仕組みを理解し、心と上手に向き合っていく方法について学習する。 | 1～3 |
| | (7) スポーツ関連を楽しもう<br>運動の基礎を理解し、トレーニング方法やケガ予防・対処方法について学習する。 | 1～3 |
| | (8) インターネットをじょうずに活用しよう<br>検索エンジン Google を活用して、生活や学習に必要な情報を入手し利用するための方法について学習する。 | 1～3 |
| | (9) ネットのトラブルに巻き込まれないように注意しよう<br>ネットで人をだます詐欺の内容を学び、その被害を受けないための具体的な方法について学習する。 | 1～3 |
| | (10) 情報モラルとは何かを学ぼう<br>SNS や電子メールなどを使う際のマナーや注意すべき点について学習する。 | 1～3 |
| | (11) パソコンを活用しよう（ワープロ）<br>Word のさまざまな機能を活用して文書を作成する方法を学習する。 | 1～3 |
| | (12) ビジネスマナーとは何かを学ぼう A<br>身だしなみ、表情、あいさつなどビジネスマナーの基礎について学習する。 | 1～3 |
| | (13) 介護職ってどんな仕事か体験してみよう<br>介護職の仕事内容について、車椅子の体験なども織り交ぜて学習する。 | 1～3 |
| 2 年生 | (1) キャリアデザインとは何かを学ぼう A<br>～自分のことを知ろう<br>これまでの自分を振り返って、自分自身について知ろう。 | 1～3 |
| | (2) キャリアデザインとは何かを学ぼう B<br>～なりたい自分を考えよう<br>将来なりたい自分について考えを深めよう。 | 1～3 |
| | (3) ビジネスマナーとは何かを学ぼう B<br>会社訪問や来客への対応などビジネスマナーの基礎について学習する。 | 1～3 |

| | | |
|---|---|---|
| | (4) ビジネスマナーとは何かを学ぼう C<br>電話応対、電子メールでの対応などビジネスマナーの基礎について学習する。 | 1～3 |
| | (5) 健康管理をしよう<br>体重管理（ダイエット）、筋力向上、維持についての基礎を学習する。 | 1～3 |
| | (6) メンタルヘルスを学ぼう<br>精神的なストレスや悩みとの向き合い方や、それを解消する方法について学習する。 | 1～3 |
| | (7) スポーツ関連を楽しもう<br>筋力トレーニング、持久力トレーニングの基礎を演習で学習する。 | 1～3 |
| | (8) 部活を楽しもう<br>運動系の部活で怪我をしないための準備運動や冬場の体力づくりについて学習する。 | 1～3 |
| | (9) 介護職の仕事を学ぼう(希望者)<br>介護の仕事の内容や働きがいについて学習する。将来の進路選択のための基礎知識を学ぶ。 | 1～3 |
| | (10) 販売ってどんな仕事か学ぼう（希望者）<br>販売の仕事の内容や働きがいについて学習する。将来の進路選択のための基礎知識を学ぶ。 | 1～3 |
| | (11) パソコンを活用しよう（表計算）<br>Excel のさまざまな機能を活用して、データを集計・加工する方法を学習する。 | 2～6 |
| 3 年生 | (1)ライフスタイル・ライフデザイン<br>将来、どのような生活を送っていきたいか、自分自身の考えを深める。 | 1～3 |
| | (2) 就職のためのガイド<br>就職活動を行う上での心がまえや注意しておくべき点などについて学習する。 | 1～3 |
| | (3) 自己を PR しよう<br>就職面接に向けて、自分自身を PR するための方法を学び、その実践について学習する。 | 1～3 |
| | (4) 社会人の心がまえを学ぼう<br>社会人、職業人としての心がまえ、求められる姿勢などについて学習する。 | 1～3 |

| | | |
|---|---|---|
| | (5) 余暇生活を考えよう<br>余暇活動の大切さについて学び、余暇生活をどのように送っていきたいかについて考えを深める。 | 1〜3 |
| | (6) お金とのつきあい方<br>日々の生活の中で、じょうずにお金を使い、やりくりしていくための方法について学習する。 | 1〜3 |
| | (7) お金のトラブルに巻き込まれないために注意しよう<br>詐欺やお金の貸し借りをめぐるトラブルについて学び、お金に関する被害に巻き込まれないため方法について知る | 1〜3 |
| | (8) 健康管理をしよう<br>自分の健康管理を実践して、記録ができるように学習する。 | 1〜3 |
| | (9) メンタルヘルスを学ぼう<br>自分にあったメンタルヘルスを実践し、日々の生活に活かせるように学習する。 | 1〜3 |
| | (10) スポーツ関連を楽しもう<br>自分の目的に沿ったトレーニング方法や手段を選択しながら学習する。 | 1〜3 |
| | (11) デジタル社会を知る<br>身近なデジタル技術の基本から、インターネットの安全な使い方、正しい情報の見極め方を学習する。 | 1〜3 |
| | (12) パソコンを活用しよう（プレゼンテーション）<br>PowerPoint のさまざまな機能を活用して、プレゼンテーション資料を作成する方法を学習する。 | 1〜3 |
| | (13) 介護の仕事を体験しよう<br>高齢者に対する生活支援の実践を通して、介護福祉という仕事への理解を深める。 | 3〜6 |
| | (14) 販売の仕事を体験しよう<br>商品販売の実践を通して、販売という仕事への理解を深める。 | 3〜6 |
| 専門学校<br>1 年生 | (1) 職業人として知っておきたいこと<br>働くことの基本概念や役割について学び、重要性を理解する。 | 3 |
| | (2) 職業人としての心構えを持とう<br>職業人に必要なマインドセットや倫理観、自己管理の重要性について学ぶ。 | 3 |

| | | |
|---|---|---|
| | (3) 自分に向いている職を見つけよう<br>その仕事に向いている自分の資質や能力を見つけ、自分の強みや弱みを理解する。 | 3 |
| | (4) コミュニケーションスキルを高めよう<br>共に働くメンバーとの効果的なコミュニケーション方法を学ぶ。 | 3 |
| | (5) 介護のしごとに就くということ<br>実際の職場(介護職)の様子や、仕事の流れを学び、職業の実態を理解する。 | 3 |
| 専門学校<br>2 年生 | (1) 多様な他者と協働する力を身につけよう<br>異なる背景を持つ他者とチームで協働学習に取り組み、将来の専門職としての土台を築く。 | 3 |
| | (2) リーダーシップとチーム管理を学ぼう<br>リーダーシップスキルやチーム管理の方法を学び、介護現場でのリーダーシップを発揮する。 | 3 |
| | (3) 職場に向けた心構えを持とう<br>職場での心構えや、実際の職場で必要なスキルや知識を深める。 | 3 |
| | (4) キャリアアップの方法を学ぼう<br>職業人としてキャリアアップするための方法や、自己啓発の重要性について学ぶ。 | 3 |
| | (5) キャリア準備を整えよう<br>就職活動のサポート、面接の準備と練習、履歴書と職務経歴書の作成方法を学ぶ。 | 3 |

## 6.3.3.　教材開発の基本方針

**●開発教材をベースとして、各校の要望・生徒の個性に応じてアレンジして活用**

開発する教材を次年度にそのまま利用してもらう想定だけではなく、これをベースとして、各校の要望等を取り入れアレンジして利用する、あるいは、開発教材を素材の１つとして各校と検討し、新たに教材を開発することも想定の範囲とする。その意味で、次年度の職業教育プログラムの実施に向けた検討・具体化も視野の範疇として開発している。

## 6.3.4.　開発教材の概要

本事業の重要テーマである「専門学校への進学」を見据え、介護福祉分野への円滑な接続や専門職理解を目的とした教材の新規開発に取り組んだ。また、これまでに開発した社会生活教育及び職業キャリア教育の各領域に対応した教材について、教育現場のニーズに合わせて指導ガイドを整備した。

### 6.3.4.1.　新規開発

●職業キャリア教育（進学）

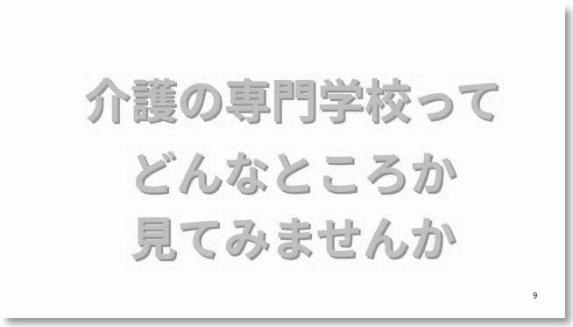
**専門学校の「雰囲気」を感覚的に伝える教材の開発**

専門学校への進学という進路選択をより現実的なものとするため、生徒が「学ぶ場の雰囲気」を直感的に理解できる動画教材を新規に開発した。

**開発のねらい**

連携校である郡山健康科学専門学校の協力を得て、実習の様子を撮影した。特別支援学校とは異なる施設の雰囲気や、仲間と共に学ぶ楽しさ、教員の丁寧な指導など、テキストだけでは伝わりにくい「場の空気感」を映像によってリアルに伝えることで、生徒が「ここで勉強してみたい」「自分も通えるかもしれない」という前向きな気持ちになるよう構成した。

**図表 6-5「介護の専門学校ってどんなところか見てみませんか」**
**動画：3 分 23 秒（予告 15 秒含）**











動画画面より一部抜粋

●職業キャリア教育（進学後）

**PBL 型協働学習教材の新規開発**

将来的な「専門学校への進学」を見据え、特別支援学校（福祉コース）の生徒と介護福福祉専門学校の学生とが、学校の枠を超えて一つの課題に取り組む「PBL 型協働学習教材」を新規に開発した。

**開発のねらい（将来への環境整備）**

現時点では、特別支援学校から専門学校への進学事例はまだ多くはない。しかし、将来的に進学する生徒が出てきた際に、彼らが専門学校での学びの中で「コンピテンシー（業務遂行能力)」を十分に伸ばせるよう、現段階から受入体制と教育環境を整えておく必要がある。本教材は、介護を学ぶ特別支援学校生と専門学校生とが共に学ぶ PBL 型協働学習とする。異なる背景を持つ生徒・学生が互いの得意・不得意を補い合いながら協働する経験を通じ、将来の専門職として必要な「他者理解」や「協調性」といった資質の土台を、進学実績が生まれる前から先行して構築することを目的としている。

PBL 型協働学習教材

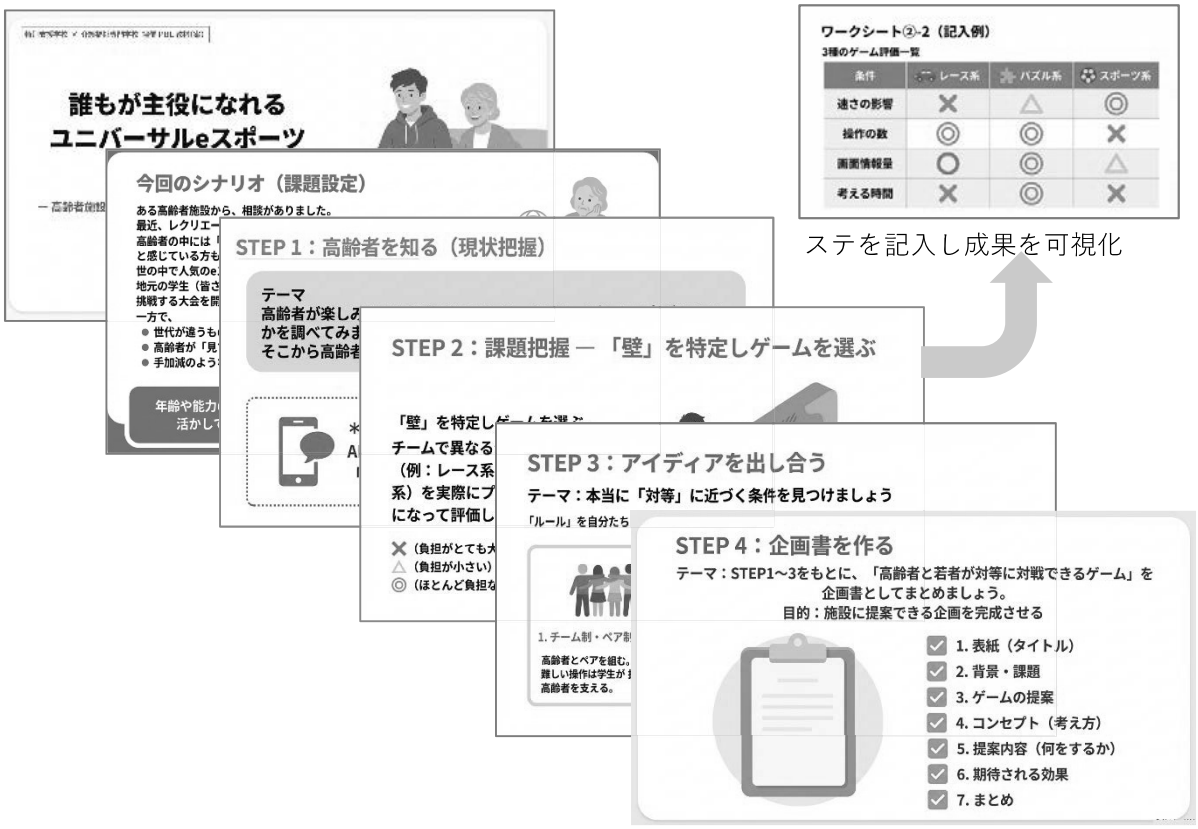
～ 高齢者施設のレクリエーション課題を解決する PBL(案) ～

特別支援学校高等部福祉コース 3 年生と介護専門学校 1 年生がチームを組み、高齢者施設のレクリエーションを「より刺激的で楽しいもの」へとアップデートする企画に挑む。 本プロジェクトでの協働を通じ、年齢や能力の異なる多様なメンバーが互いの個性を生かすことで、誰もが主役になれることを学ぶ。PBL 教材の基本設計を次頁に示す。

図表 6-6　PBL 教材基本設計

| | | |
|---|---|---|
| テーマ | 「誰もが主役になれる」ユニバーサル e スポーツを企画しよう | |
| 目的 | 年齢や身体能力の違いがあっても、誰も主役になれる環境は作ることができることを知る | |
| 学習目標 | 1. 高齢者の身体的特徴を知り、ゲーム参加のハードル（障壁）を理解する<br>2. 多様なプレイヤーが「誰もが主役」になれるルール（環境）を考案する<br>3. 生成 AI を活用して互いの得意・不得意を補い合いながら、一つのチームとして協働する | |
| 学習構成 | STEP1：<br>現状把握 | 生成 AI を活用し、高齢者の身体的特徴を知る |
| | STEP2：<br>課題把握 | 実際にゲームをし、高齢者が「ゲームを楽しむための壁」を見つける |
| | STEP3：<br>アイデア創出・検証 | 「壁」を埋めて、誰もが主役になれるためのアイディアを出し合う |
| | STEP4：<br>企画書作成 | ワークシートの内容を整理し、施設に提案するための資料を作成する。 |
| | STEP5：<br>発　表 | （高齢者施設の関係者に対し）自分たちが考えた「誰もが主役になれる e スポーツ」を発表する |
| 成果物 | 「誰もが主役になれる e スポーツ」企画書（スライド資料） | |

図表 6-7　PBL 教材スライドより一部抜



### 6.3.4.2.　教材の改訂

**「指導用ガイド」の整備**

これまでに開発した教材の教育効果を最大化し、担当教員の経験や専門性に依存しない指導体制を構築するため、授業用教材（PowerPoint）の内容を精査した。その上で、特別支援学校高等部 3 年生対象、および専門学校 1 年生対象のカリキュラムに対応する教材に関して、指導意図、解説、学習上の留意点等を体系的に整理した。その結果、5 教材全 74 節分の指導用ガイド（Word 形式）を整備した。これにより、教材の活用方法そのものを再設計し、特別支援学校の生徒一人ひとりの個性を学習に生かす質の高い授業を再現可能とする教員用教材を整えた。

**対象教材**

**●特別支援学校高等部生教材**

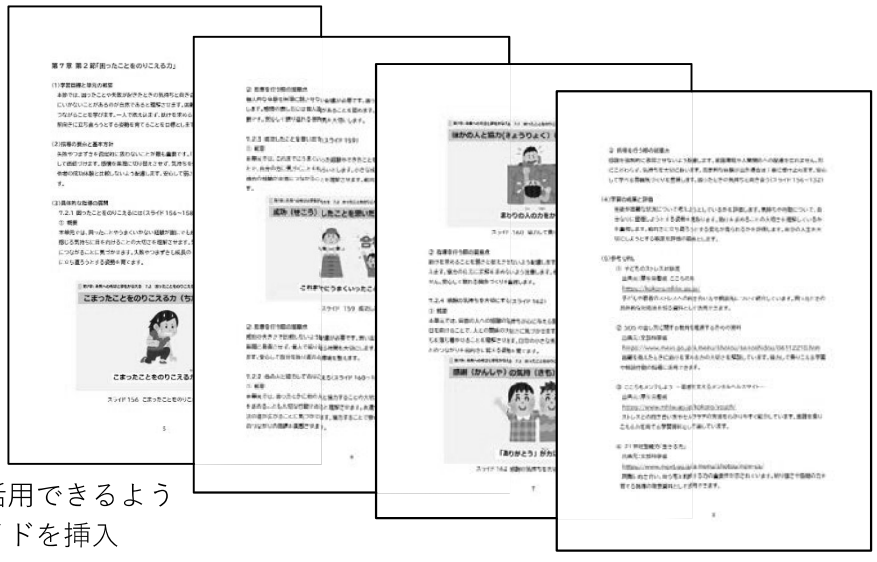
「ライフスタイル・ライフデザイン　（9 章全 23 節）」　3 年生カリキュラム -（1）
「就職のためのガイド　（5 章全 14 節）」 3 年生カリキュラム-（2）
「お金とのつきあい方　（5 章全 12 節）」 3 年生カリキュラム-（6）
「デジタル社会を知る　（5 章全 11 節）」 3 年生カリキュラム -（11）

**●専門学校生教材**

「介護のしごとに就くということ（4 章全 14 節）」 専門学校 1 年生カリキュラム-（5）

「指導用ガイド」　項目
1．学習目標と単元の概要
2．指導の要点と基本方針
3．具体的な指導の展開と留意点
4．参考 URL

**図表 6−8「ライフスタイル・ライフデザイン　第 7 章第 2 節」（見本）**



教材と併用して活用できるよう
該当画面のスライドを挿入